

県立倉吉農業高等学校祥雲寮北側トイレ洋式化改修工事

図面リスト		
図面番号	図面名称	縮 尺
M-01	表紙・図面リスト	—
M-02	機械設備工事特記仕様書(1)	—
M-03	機械設備工事特記仕様書(2)	—
M-04	配置図、付近見取図	1/1500
M-05	衛生設備 改修後・撤去 器具表、凡例、便所給水管接続 参考断面図	1/30
M-06	衛生設備 1階平面図	1/300
M-07	衛生設備 2階平面図	1/300
M-08	衛生設備 改修後 北棟1階便所平面詳細図(給水・排水)	1/50
M-09	衛生設備 改修後 北棟2階便所平面詳細図(給水・排水)	1/50
M-10	衛生設備 北棟1階便所はつり参考図	1/50
M-11	衛生設備 北棟2階便所はつり参考図	1/50
M-12	衛生設備 北棟1・2階便所天井伏図	1/50
M-13	分電盤 改修後・新設 結線図、L-12分電盤 既設 結線図	—
M-14	コンセント設備 1階平面図	1/300
M-15	コンセント設備 2階平面図	1/300
M-16	コンセント設備 改修後 1・2階平面詳細図	1/50
M-17	衛生設備 撤去 北棟1階便所平面詳細図(給水・排水)	1/50
M-18	衛生設備 撤去 北棟2階便所平面詳細図(給水・排水)	1/50
M-19	分電盤 撤去 結線図、L-12分電盤 既設 結線図	—
M-20	衛生設備 北棟1・2階便所平面詳細図(仮設給水)	1/50
M-21	北棟1・2階便所 改修後 建具平面図	1/50
M-22	北棟1・2階便所 撤去 建具平面図	1/50



機械設備工事特記仕様書

I. 工事概要

1 工事場所 倉吉市大谷

2 建物概要

番号	建物名称	構造	階数	建築基準法による延べ面積(m ²)	消防法施行令別表第一の区分	備考
1	祥雲寮	RC造	地上2F	4,282m ²	() 項	
2					() 項	
3					() 項	
4					() 項	
5					() 項	

3 工事種目 (●印の付いたものが対象工事種目)

工事種目	番号	1	2	3	4	5	屋外	備考
● 空調設備								
● 冷暖房設備								
● 換気設備								
● 排煙設備								
● 自動制御設備								
● 衛生器具設備		○						
● 給水設備		○						
● 排水設備		○						
● 給湯設備								
● ガス設備								
● 浄化槽設備								
● 消火設備								
● さく井設備								
● 電気設備工事		○						
● 建築工事		○						

4 設備概要 (本工事における工事種目ごとの概要を示すもので、仕様を規定するものではない。)

●印の付いたものを適用する。

項目	設備概要
● 空調設備	● 単一ダクト方式 ● 各階ユニット方式 ● ダクト併用ファンコイルユニット方式
● 冷暖房設備	● ファンコイルユニット方式 ● パッケージ方式
● 暖房設備	● 温水暖房 ● 蒸気暖房 ● 温風暖房 (● 局所式 ● 中央式) ● 床暖房
● 熱源	● 電気 ● 灯油 ● A重油 ● ガス ● バイオマス
● 主要熱源機器	● 鋼製ボイラー ● 鋳鉄製ボイラー ● 真空式温水発生機 ● 無圧式温水発生器 ● テリングユニット ● スクリュー冷凍機 ● 遠心冷凍機 ● 吸収式冷凍機 ● 直だし吸収式温水機 ● 小形吸収式温水機ユニット ● バイオマスボイラー ● ルームエアコン ● ヒートポンプパッケージエアコン (マルチタイプ ● 有 ● 無) ● 温風暖房機 ● FF暖房機 ● その他 ()
換気設備	● 第一種 ● 第二種 ● 第三種
排煙設備	● 機械排煙 (適用法規 ● 建基法 ● 消防法)
自動制御設備	● 電気式 ● 電子式 ● デジタル式
● 給水設備	給水方式 ● 水道直結方式 ● 高置水槽方式 ● ポンプ直送方式 ● 増圧給水方式 水源 ● 水道水 ● 井水 ● 工業用水
● 排水設備	排水方式 ● 自然流下 ● ポンプ排水 (● 汚水 ● 雑排水 ● 雨水) 放流先 ● 汚水 ● 公共下水道 ● 浄化槽 ● 雑排水 ● 公共下水道 ● 浄化槽 ● 雨水 ● 公共下水道 ● 側溝 ● 河川 浄化槽 ● 処理方式 ● 小規模合併 ● 合併 ● 処理水放流先 ● 排水路 ● 側溝 ● 河川
● 給湯設備	● 局所式 (● ガス ● 油 ● 電気) ● 中央式 (● 油 ● ガス ● 電気)
● 消火設備	● 屋内消火栓 ● 屋外消火栓 ● 連結送水管 ● 連結散水 ● スプリンクラー ● 泡消火 ● 粉末消火装置 ● 不活性ガス消火 (● 窒素 ● 窒素系) ● ハロゲン化物消火
● ガス設備	● 都市ガス (MJ/Nm ³) ● 液化石油ガス

II. 特記仕様

1 一般事項

- 現場説明書、質問回答書、特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の標準仕様書等のうち、
 - 印の付いたものによる。
 - 公共建築工事標準仕様書 (機械設備工事編) (令和4年版) (以下「標準仕様書」という。)
 - 公共建築改修工事標準仕様書 (機械設備工事編) (令和4年版) (以下「改修標準仕様書」という。)
 - 公共建築設備工事標準図 (機械設備工事編) (令和4年版) (以下「標準図」という。)
- 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「機械設備工事監理指針 (令和4年版)」 (以下「監理指針」という。) を適用する。
- 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの標準仕様書等及び監理指針を適用する。

2 特記事項

- 項目は番号に ○ 印の付いたものを適用する。
- 特記事項のうち選択する事項は ● 印の付いたものを適用する。
 - 印の付かない場合は、※ 印の付いたものを適用する。 ● 印と ⊙ 印の付いた場合は両方を適用する。
- 一般共通事項のうち (1、2、3、11、12、14、15、16、17、18、36) 項は、● 建築 ● 電気設備 工事特記仕様書による。

一般共通事項

項目	特記事項															
① 官公署その他への手続	工事の施工に伴い必要な官公署その他への手続き、検査並びにその費用は、請負者の負担とする。															
② 電気保安技術者	工事現場における電気保安技術者は、鳥取県総務部営繕工事自家用電気工作物保安規程第5条に定める工事担当技術者の職務を補佐し、当該工事の工事期間中自家用電気工作物の保安の業務を行うものとする。なお、電気保安技術者の資格は標準仕様書第1編第1章第3節1、3、2によるものとし、一般用電気工作物にかかる工事についても、自家用電気工作物の場合と同様の業務を行うものとする。															
3 工事安全計画書等	建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に工事安全計画書を作成し監督職員に提出する。															
④ 発生材の分析及び処理	引渡しを要するもの ※ 無し ● 有り () 引渡しを要するもの以外は、構外搬出適切処理とする。 特別管理産業廃棄物 ※ 無し ● 有り ● 本工事において調査を行う (● 廃石綿 (配管用保温材) ● PCB使用機器 ● 天井材 ● タイル下地 ● 防水層) アスベスト含有設備資機材 (ガスケット、パッキン、たわみ継手等の石綿含有廃棄物) は関係法令に従い適切に処理を行う。 PCB使用機器は関係法令等に従い適切に処理する。 撤去予定機器の微量PCB分析 ※ 無し ● 有り 再生資源化を図るもの ※ 無し ● 有り (● コンクリート塊 ● アスファルトコンクリート塊 ●)															
⑤ 機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等以上の品質及び性能を有するものとする。ただし、これらと同等以上のものとする場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料をあらかじめ監督職員に提出して承諾を受ける。なお、(一社)公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿」による場合は評価書の写しを監督職員に提出するものとする。															
⑥ 機材の品質・性能証明	JIS等のマーク及び評価書のある機材を使用する場合は、標準仕様書第1編第1章第4節1、4、2(3)の品質及び性能を有することの性能を有することの証明となる資料の提出を省略できる。ただし、標準仕様書に規定される製作図、試験成績等は除く。															
⑦ 機材の承諾図	機械設備工事機材承諾図様式集 (令和4年版) によるほか、監督職員の指示による。															
⑧ 図形等の表示	機器類は、図示する形状、配管などの取出し位置及び製造品番により、特定製造者の製品を指示、限定しない。															
⑨ 電気容量及び機器表示	機器類の能力、容量等は、原則として図面に記載された値以上とする。															
⑩ 技能士の適用	電動機出力、燃料消費量等は、原則として図面に記載されている値以下とする。 下記により適用する技能士は、適用する工事作業中、1名以上の者が自ら作業するとともに他の技能者に対して施工品質の向上を図るための作業指導を行う。また、そのものが技能士であることが分かる名札 (下図参考) を常時着用する。 ● 配管 (● 1級 ● 2級) ● 熱絶縁施工 (● 1級 ● 2級) ● 冷凍空調と機器施工 (● 1級 ● 2級) ● 建築板金 (● 1級 ● 2級)															
⑪ 施工図等	提出した施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は発注者に移譲するものとする。															
⑫ 完成写真等	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「工事写真撮影ガイドブック機械設備工事編 平成30年版」によるほか、監督職員の指示による。下記のものを提出する。															
	<table border="1"><thead><tr><th>区分</th><th>分類・規格</th><th>撮影箇所</th><th>部数</th><th>電子データの提出</th></tr></thead><tbody><tr><td>工事写真</td><td>カラーサービス判</td><td>各工種工程毎</td><td>※ 1部 ● 部</td><td>● 要 ● 不要</td></tr><tr><td>完成写真</td><td>カラーサービス判</td><td>監督職員の指示による</td><td>※ 2部 ● 部</td><td>● 要 ● 不要</td></tr></tbody></table>	区分	分類・規格	撮影箇所	部数	電子データの提出	工事写真	カラーサービス判	各工種工程毎	※ 1部 ● 部	● 要 ● 不要	完成写真	カラーサービス判	監督職員の指示による	※ 2部 ● 部	● 要 ● 不要
区分	分類・規格	撮影箇所	部数	電子データの提出												
工事写真	カラーサービス判	各工種工程毎	※ 1部 ● 部	● 要 ● 不要												
完成写真	カラーサービス判	監督職員の指示による	※ 2部 ● 部	● 要 ● 不要												

一般共通事項

⑬ 完成図等

次の図書を工事の完成引渡し時に監督職員に提出する。

区分	名称	部数
※ 完成図原因	完成図 ● 原紙 ※ CADデータ ※ PDFデータ 施工図 ● 原紙 ● CADデータ ● PDFデータ	1部
※ 完成図 2つ折製本	● 完成図 ● 完成図 (縮小版) ● 施工図	※ 2部 ● 部
※ 完成図書 ※ A4版市販ファイル ● A4版黒表紙製本	● 完成図 (縮小版) ● 主要機器図 ● 試験成績書	※ 2部 ● 部
※ 保守用説明書 (A4版ファイル)	※ 保守に関する指導案内書 ※ 機器取扱説明書 ※ 主要機器一覧表	※ 2部 ● 部
※ 保証書		1部
※ 官公署の届出書類		1部

● 原因ケース・製本図面の背表紙に「施設コード・部局名称」ラベルを貼り付ける。

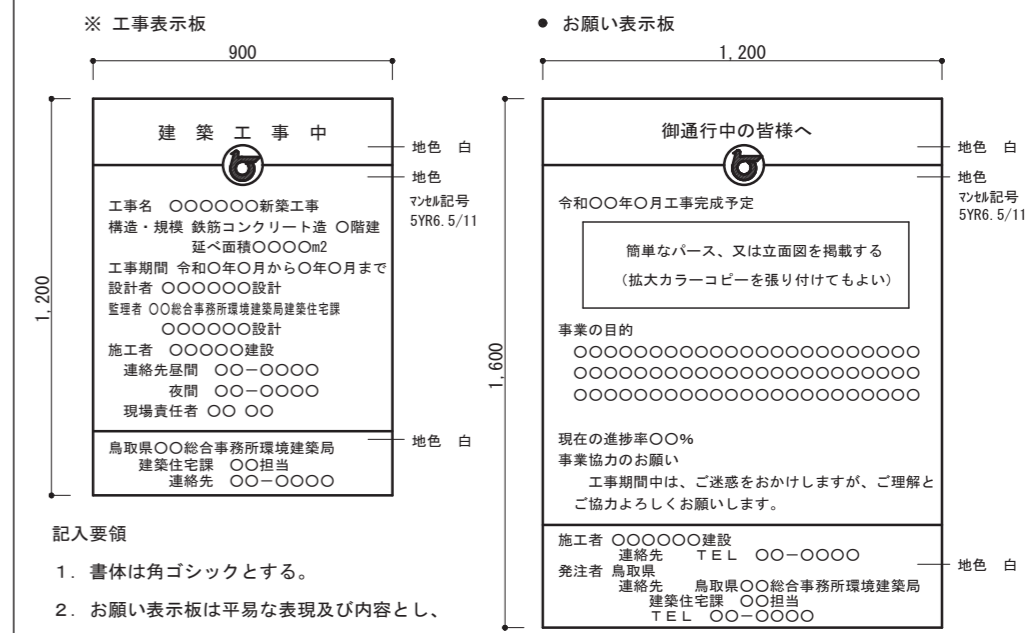
14 他工事との取合

他工事との取り合い	建築	電気設備	機械設備
● コンクリート壁、床、梁貫通部	スリーブ・箱入 補 強	● ● ●	※ ● ● ●
● 鉄骨造の開口及び補強		※ ● ● ●	● ● ● ●
● 照明器具・幹線等の吊りボルト用インサート (くぎ処理共)		● ● ※ ● ●	● ● ● ●
● 軽量鉄骨壁のボックス取付用下地		● ● ※ ● ●	● ● ● ●
● 埋込分盤・端子盤・ブルボックスの仮枠及び埋込部分の補強	仮 枠 補 強	● ● ※ ● ●	● ● ● ●
● O.Aフロア・フリーアクセスフロアの切込み及び補強		※ ● ● ●	● ● ● ●
● 埋込形機器取付用の天井・壁の切込加工及び下地の補強	切 り 込 み 補 強	● ● ● ※ ● ●	● ● ● ●
● 自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアクローザ、フロアヒンジ		※ ● ● ●	● ● ● ●
● 電気室、自家発電室などの基礎及びピット (蓋を含む)		※ ● ● ●	● ● ● ●
● 天井点検口		※ ● ● ●	● ● ● ●
● 機器類のコンクリート基礎	屋内・屋外設置 屋 上 設 置	● ● ● ※ ● ●	● ● ● ●
● 機器付属の制御盤及び操作盤から機器までの配線		● ● ● ※ ● ●	● ● ● ●
● 機器用コントロールスイッチ (空調機、給湯器等) の取付及び配線		● ● ● ※ ● ●	● ● ● ●

⑬ 工事用水・電力・その他

⑭ 表示板

本工事に必要な工事用水、水及び諸手続きなどの費用はすべて受注者の負担とする。
設ける。(寸法等は下図による。建築工事、電気設備工事等と一緒に表示する。)



17 足場

⑬ 工事用仮設物

19 土工事

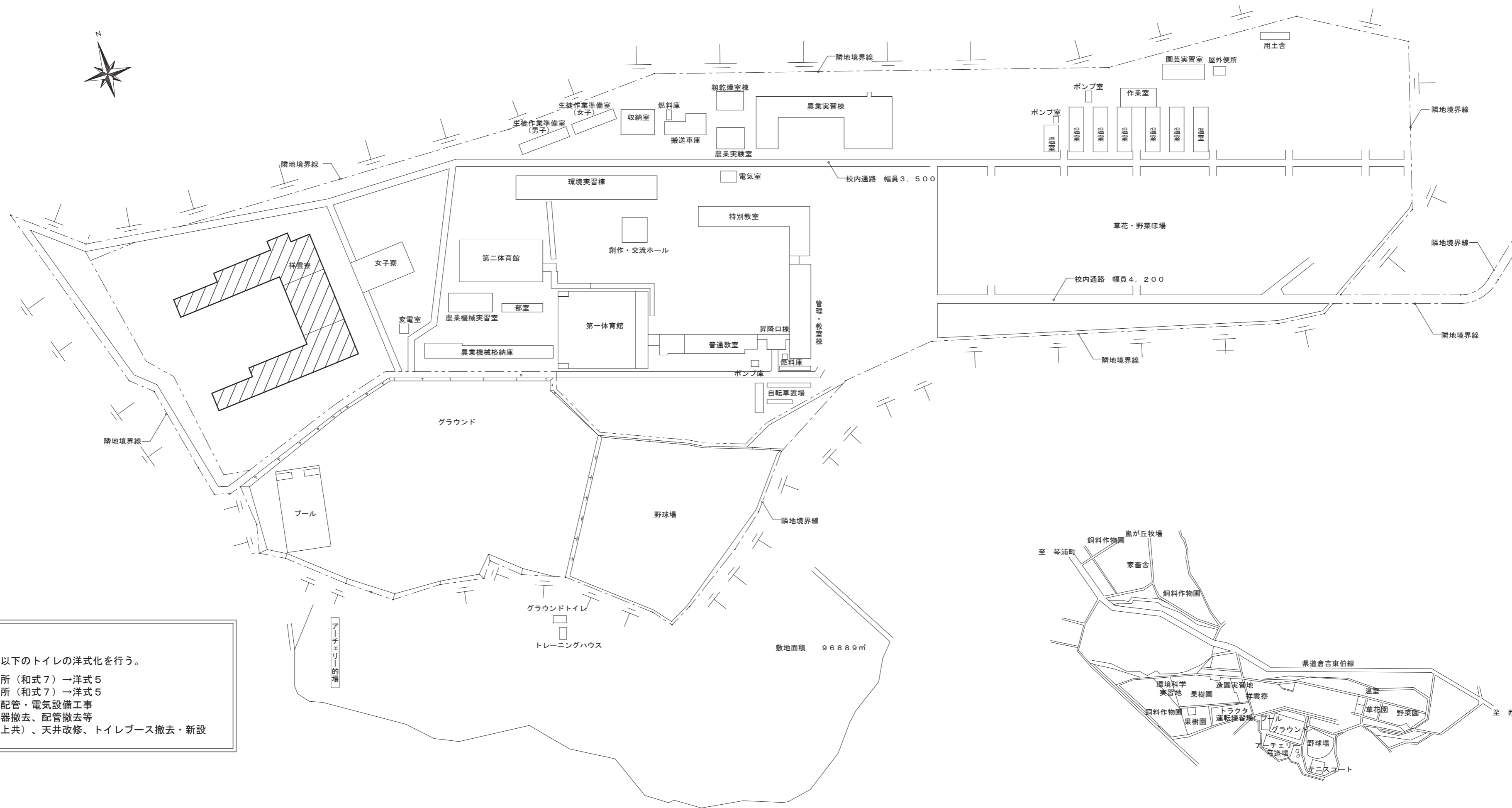
⑭ 保温工事

- 「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置にあたっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。
- 構内に作ることが ※ 出来る ● 出来ない
- (ア) 埋め戻し土 ● 根切土のなかの良質土 (● コンクリート管以外の管の周囲は山砂の類)
● 山砂の類 ()
● 真砂土 ()
- (イ) 建設発土処分 ● 構外に搬出 ● 構内に敷ならし ● 構内の指示する場所に堆積
- 冷温水管 (● ロックウール ● グラスウール ● ポリスチレンフォーム)
 - 蒸気管 (● ロックウール ● グラスウール)
 - 給水管 (● ロックウール ● グラスウール ● ポリスチレンフォーム)
● 保温チューブ (厚さ②) ●)
 - 排水管 (● ロックウール ● グラスウール ● ポリスチレンフォーム ●)
 - 給湯管 (● ロックウール ● グラスウール ● 保温チューブ (厚さ②))
 - 消火管 (● ロックウール ● グラスウール ● ポリスチレンフォーム)
 - ダクト (● ロックウール ● グラスウール ●)
 - 燃焼熱源等機械室内の配管 (● ロックウール ● グラスウール)
 - 全熱交換機の給気ダクト (● 機器外気側 ● 機器室内側) は保温 (グラスウール2.5mm厚) する。
 - 冷媒管の保温外装 屋内 (● 樹脂製化粧ケース ● 合成樹脂製シート ●)
屋外 (● 樹脂製化粧ケース ● SUS鋼板 ●)



<p>一般共通事項</p>	<p>21 鋼管類の防食処置</p> <p>22 絶縁継手</p> <p>23 防振継手</p> <p>24 伸縮管継手</p> <p>25 塗装</p> <p>26 ステンレス鋼管の接合方法</p> <p>27 溶接配管の検査</p> <p>28 埋設表示</p> <p>29 支持金物・固定金具</p> <p>30 総合試運転調整</p> <p>31 アスベスト含有建材の処理</p> <p>32 補修など</p> <p>33 はつり</p> <p>34 はつり工事における非破壊検査</p> <p>35 室内空気中の化学物質の濃度測定</p> <p>36 火災保険等</p> <p>37 グリーン購入</p> <p>38 鳥取県公共工事環境配慮指針</p> <p>39 建築物省エネ法</p> <p>40 耐震施工</p>	<p>地中埋設 ● ペトロラタム系 ● プチルゴム系 ● 熱収縮チューブ及びシート</p> <p>● 標準図（施工3） ● (1)絶縁フランジ ● (2)絶縁シート ● (3)絶縁スリーブ ● (4)絶縁ユニオン</p> <p>※ 合成ゴム製（球形） ● ポリテトラフルオロエチレン製 ● ペローズ形（ステンレス製）</p> <p>※ ペローズ形 ● スリーブ形</p> <p>各種材料のうち、下記の部分は塗装しない。（さび止め塗装は除く。）</p> <p>(ア)埋設されるもの（ただし、防食塗装部分を除く） (イ)垂鉛めっき以外のめっき仕上げ面</p> <p>(ウ)垂鉛めっきされたもので、常時隠へいされる部分 (エ)垂鉛めっきされた金属電線管、鋼製架台及び支持金物類</p> <p>(オ)樹脂コーティング等を施したもので、常時隠へいされる部分 (カ)カラー垂鉛鉄板面</p> <p>(キ)アルミ、ステンレス、銅、溶融アルミニウム-垂鉛鉄板面、合成樹脂製等、特に塗装の必要を認められない面</p> <p>(ク)特殊な意匠的表面仕上げ処理を施した面</p> <p>(ケ)主・各階機械室内等及び電気室内の垂鉛めっきされた露出ダクト及び露出配管</p> <p>● 上記及び標準仕様書によらず塗装を施す部分・箇所（ ）</p> <p>呼び径60Sφ以下の継手は、SAS322を満足するものとする。</p> <p>● ガス配管 ● 冷温水配管 ● 冷却水配管</p> <p>非破壊検査の適用（ ● 放射線透過検査 ● 浸透探傷検査又は磁粉探傷検査 ）</p> <p>抜 取 率（ ● 標準仕様書による ● % ）</p> <p>● 地中埋設標を明示する箇所に設ける。</p> <p>● 埋設表示用テープを埋設する。（ ● ガス管 ● 屋外給水管 ● ）</p> <p>ポンプ、屋外設置機器及びピット内に使用するアンカーボルト、ナットはSUS304製とする。</p> <p>屋外及びピット内の配管、ダクトに使用する支持金物等はステンレス製または溶融垂鉛めっき仕上げとする。</p> <p>下記事項の総合調整を行い、測定結果を監督職員に提出する。</p> <p>● 温度 ● 湿度 ● 風量 ● 騒音 ● 水量 ● 浄化槽放流水質</p> <p>● 風速 ● じんあい ● 飲料水水質（ ● 一般飲料水適否検査 ● 残留塩素測定 ）</p> <p>● その他水質等（ ● 雑用水 ● 空調用流体 ● ）</p> <p>公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編） 9章 環境配慮改修工事 1節 石綿含有建材の除去工事による処理を行うアスベスト含有建材の仕様等</p> <table border="1"> <tr> <th>建材の内容・箇所</th> <th>仕様等</th> <th>処理を行う範囲</th> </tr> <tr> <td>タイル下地</td> <td>モルタル</td> <td></td> </tr> <tr> <td>防水層</td> <td>アスファルト防水材</td> <td></td> </tr> </table> <p>※ 県有施設の石綿除去等に係る施工業者の登録制度による登録を受けている業者を活用するものとする。</p> <p>※ 官公署その他への手続きは、同じ仕様書ほか、労働安全衛生法、大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、石綿障害予防規則、鳥取県石綿健康被害防止条例等の関係法令に基づいて行う。</p> <p>① 施工調査（分析によるアスベスト含有建材の調査）を行う。</p> <p>分析方法はJISA1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。</p> <p>● アスベスト粉じん濃度測定を行う。</p> <p>（測定時期： 測定場所： 測定点： ）</p> <p>● 洗浄設備（洗眼、うがいの設備）及び更衣設備等を設ける。</p> <p>● 作業場の養生として、処理場所をプラスチックシート等で囲い、外部への粉じん飛散を防止する。</p> <p>対象箇所（ ）</p> <p>工事の施工に伴い既成部分を汚染又は損傷した場合は、既成にない補修する。</p> <p>既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。</p> <p>探査方法 ※ 電磁誘導式 ● 放射線透過検査</p> <p>実施する。</p> <p>工事目的物及び工事材料等工事途中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に加入する。</p> <p>（保険の加入期限は、工事完成引渡しまで〔概ね工期+21日〕とする。）</p> <p>グリーン購入は次のものとする。</p> <p>● 空調用機器（ ） ● 衛生器具（洋風大便器）</p> <p>● 断熱材（ ） ● 配管材（ ● 再生硬質ポリ塩化ビニル管 ）</p> <p>● その他（ ）</p> <p>対象工事</p> <p>対象工事</p> <p>設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。ただし、重量1kN以下の一般機器について、製造者の指定する固定方法を採用する場合は、この限りではない。</p> <p>(1) 機器の据付け及び取付け</p> <p>設計用水平地震力は、機器の重量（自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量）[kN]に、地域係数と次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設計用標準水平震度</th> <th>● 特定の施設</th> <th>● 一般の施設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設置場所</td> <td>● 重要機器</td> <td>● 一般機器</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">上 層 階 屋上、塔屋</td> <td>機 器</td> <td>2.0 1.5 1.5 1.0</td> </tr> <tr> <td>防振設置機器</td> <td>2.0 2.0 2.0 1.5</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">中 間 階</td> <td>機 器</td> <td>1.5 1.0 1.0 0.6</td> </tr> <tr> <td>防振設置機器</td> <td>1.5 1.5 1.5 1.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">地階・1階</td> <td>機 器</td> <td>1.0 1.0 1.0 0.6</td> </tr> <tr> <td>防振設置機器</td> <td>1.0 1.0 1.0 0.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>上層階の定義 2～6階建：最上階、7～9階建：上層2階、10～12階建：上層3階、13階建以上：上層4階</p> <p>中間階の定義 地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの</p> <p>重要機器 ● 換気機器 ● 空調機器 ● 熱源機器 ● 防災機器 ● 監視制御設備 ● 危険物貯蔵装置</p> <p>● 火を使用する設備 ● 避難経路上に設置する機器 ● 水槽類（燃料小出槽を含む）</p> <p>●（ ）</p> <p>(2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。</p> <p>(3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」（一財）日本建築センター）を参考にする。</p>	建材の内容・箇所	仕様等	処理を行う範囲	タイル下地	モルタル		防水層	アスファルト防水材		設計用標準水平震度	● 特定の施設	● 一般の施設	設置場所	● 重要機器	● 一般機器	上 層 階 屋上、塔屋	機 器	2.0 1.5 1.5 1.0	防振設置機器	2.0 2.0 2.0 1.5	中 間 階	機 器	1.5 1.0 1.0 0.6	防振設置機器	1.5 1.5 1.5 1.0	地階・1階	機 器	1.0 1.0 1.0 0.6	防振設置機器	1.0 1.0 1.0 0.6	<p>1 空気調和設備</p> <p>2 冷暖房設備</p> <p>3 換気設備</p> <p>4 排煙設備</p> <p>5 自動制御設備</p>	<p>1 設計用温湿度条件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="2">外気条件</th> <th colspan="4">室内（調整目標値）</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">一 般</th> <th colspan="2">（ ）</th> </tr> <tr> <th>温度</th> <th>湿度</th> <th>温度</th> <th>湿度</th> <th>温度</th> <th>湿度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夏季</td> <td>(DB)</td> <td>(RH)</td> <td>(DB)</td> <td>(RH)</td> <td>(DB)</td> <td>(RH)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>28.0</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>冬季</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>19.0</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 冷却水管</p> <p>3 冷水・温水・冷温水管</p> <p>4 膨張・空気抜・補給水管</p> <p>5 蒸気給気管</p> <p>6 蒸気還水管</p> <p>7 油・油用通気管</p> <p>8 冷媒管</p> <p>9 空調用給水管</p> <p>10 空調用排水管</p> <p>11 弁類</p> <p>12 ファンコイルユニット</p> <p>13 ダンパー</p> <p>14 ダクト</p> <p>15 吹出口・吸込口</p> <p>16 チャンパー等</p> <p>17 消音内貼り</p> <p>18 瞬間流量計及び流量測定口</p> <p>19 定風量・変風量ユニット</p> <p>20 温度計</p> <p>21 冷温水管の空気抜き</p> <p>22 空調機用トラップ</p> <p>23 銅板製煙道</p> <p>24 オイルサービスタンク</p> <p>25 地下オイルタンク</p> <p>26 油面制御装置</p> <p>27 フィルター等付属品</p> <p>28 パッケージ空調機の能力表示</p> <p>29 防振吊り及び支持金物</p> <p>1 ダクト</p> <p>2 排煙口</p> <p>3 排煙口開放及び復帰方式</p> <p>4 排煙風量測定</p> <p>1 中央監視制御盤装置</p> <p>2 電源装置</p> <p>3 温度調節器等</p> <p>4 計装工事の配線</p>		外気条件		室内（調整目標値）						一 般		（ ）		温度	湿度	温度	湿度	温度	湿度	夏季	(DB)	(RH)	(DB)	(RH)	(DB)	(RH)		℃	%	28.0	℃	%	℃	%	冬季	℃	%	19.0	℃	%	℃	%	<p>⑥ 衛生器具設備</p> <p>⑦ 給水設備</p> <p>⑧ 排水設備</p> <p>⑨ 給湯設備</p> <p>10 消火設備</p> <p>11 ガス設備</p> <p>12 浄化槽設備</p>	<p>① 衛生器具の参考型番</p> <p>2 小便器用節水装置</p> <p>3 自動水栓</p> <p>④ 大便器洗浄弁</p> <p>5 温水洗浄便座</p> <p>⑥ 器具と排水管接続</p> <p>1 量水器</p> <p>② 配管材料</p> <p>3 弁類</p> <p>4 水槽のマンホール</p> <p>① 配管材料</p> <p>2 満水試験継手</p> <p>3 バイパスシャフト内配管の保温</p> <p>4 煙試験</p> <p>9 給湯設備</p> <p>2 弁類</p> <p>10 消火設備</p> <p>4 屋内消火栓</p> <p>5 ガス系消火剤の種類</p> <p>6 ガス系消火の起動方式</p> <p>11 ガス設備</p> <p>2 配管材料</p> <p>3 ガスメータ</p> <p>4 バルク貯槽</p> <p>5 容器廻りの配管</p> <p>6 容器転倒防止</p> <p>7 ガス漏れ警報器</p> <p>12 浄化槽設備</p> <p>1 処理種別及び方式</p> <p>2 型式</p> <p>3 処理能力</p> <p>4 放流水の水質</p> <p>5 排水方式</p> <p>6 埋戻し土</p> <p>7 土留め工事</p> <p>8 マンホールふた</p> <p>9 消毒薬</p> <p>型番変更等により参考型番が変更又は廃止されている場合、参考型番の同等品とする。</p> <p>※ 小便器一体型 ● 小便器分離型</p> <p>● 洗浄水量4リットル/回以下</p> <p>※ 個別感知方式（ ● AC電源 ● 自己発電 ● 乾電池 ） ● 手動式</p> <p>電源供給方式 ● AC電源 ● 自己発電 ● 乾電池</p> <p>操作方式 ● 電気開閉式（ ● センサー式 ● タッチスイッチ式 ）</p> <p>● 手動式</p> <p>洗浄水加熱方式 ● 瞬間式 ● 貯湯式</p> <p>※ 標準図（施工64） ● 標準図（施工65）</p> <p>● 親メーター ※ 借用 ● 買取 ● 直読 ● 遠隔表示</p> <p>● 子メーター ※ 買取 ※ 借用（ ※ 直読 ● 遠隔表示 ）</p> <p>(ア)一般配管 ● SGP-VB ● SGP-PB ● SUS304 ● SUS316</p> <p>● H1VP ● 架橋ポリエチレン管</p> <p>(イ)土間下配管 ● SGP-VD ● SGP-PD ● H1VP ● SUS304 ● SUS316</p> <p>(ウ)地中配管 ● SGP-VD ● SGP-PD ● H1VP ● SUS304 ● SUS316</p> <p>● 水道用ポリエチレン管（75～100A） ● 水道用ポリエチレン二層管（50A以下）</p> <p>(エ)特記なき給水管の最小口径は20Aとする。</p> <p>(オ)ビニル管の接合方法 ※ 接着接合 ● ゴム輪接合（直管以外の継手部には離脱防止金具取付とする。）</p> <p>(カ)ポリエチレン管の接合方法 50A以下 ※ 金属製継手 ● 融着継手 75A以上 ※ 融着継手</p> <p>● 口径65A以上の仕切弁及び逆止弁は、ライニング弁とする。</p> <p>● 5K（受水槽以降の配管に使用） ● 10K（公営水道に直結する配管に使用）</p> <p>● 公営水道事業者指定の止水栓又は弁（給水引込部に使用）</p> <p>屋外に設置する水槽のマンホール蓋は保温形（二重蓋含む）とする。</p> <p>(ア)屋内汚水管 ● VP ● RF-VP ● 排水用塩ビライニング鋼管 ● 耐火二層管</p> <p>(イ)屋内雑排水管 ● VP ● RF-VP ● SGP（白） ● 排水用塩ビライニング鋼管</p> <p>● 耐火二層管</p> <p>(ウ)ポンプ排水管 ● VP（水道用） ● H1VP ● 排水用塩ビライニング鋼管（圧送排水鋼管用継手）</p> <p>(エ)通気管 ● VP ● RF-VP ● SGP（白） ● 排水用塩ビライニング鋼管</p> <p>(オ)屋外排水管 ● VP ● RF-VP ● VU（地中） ● REP-VU（地中）</p> <p>● RS-VU ● 卵形管 ● コンクリート管</p> <p>3階以上にわたる排水管立て管に満水試験継手を ※ 取付ける ● 取付けない</p> <p>※ 施工する ● 施工しない</p> <p>※ 行わなくてもよい ● 図示の系統のみ行う</p> <p>● SGP-HVA ● ステンレス鋼管 ● 架橋ポリエチレン管</p> <p>● 保温付被覆鋼管 ● 鋼管</p> <p>湯沸器、給湯機廻りの付属配管等は製造業者標準品とする。</p> <p>※ 5K ● 10K</p> <p>(ア)一般配管 ● SGP（白） ● STPG</p> <p>(イ)土間下配管 ● SGP-VS ● STPG-VS</p> <p>(ウ)地中配管 ● SGP-VS ● STPG-VS</p> <p>※ 10K ● 16K</p> <p>(ア)呼水タンク ※ 施工しない ● 施工する</p> <p>(イ)充水タンク ※ 施工しない ● 施工する</p> <p>(ウ)配管の保温は次による。（屋外露出箇所は種別e3・（ハ）・Ⅶによる）</p> <p>● 屋内消火栓用（ ※ 施工しない ● 施工する ） ● スプリンクラー用（ ※ 施工しない ● 施工する ）</p> <p>● 連結送水用（ ※ 施工しない ● 施工する ） ● 連結放水用（ ※ 施工しない ● 施工する ）</p> <p>● 広範囲型2号消火栓 ● 易操作性1号消火栓 ● 屋内消火栓（ ● 1号 ● 2号 ）</p> <p>● 窒素 ● IG-541 ● IG-55 ● HFC-227ea ● HFC-23</p> <p>※ 手動 ● 自動手動切替式</p> <p>都市ガス設備</p> <p>都市ガスはガス供給事業者の供給約款による。</p> <p>(ア)一般配管 ※ SGP（白） ● 合成樹脂被覆鋼管</p> <p>(イ)土間下配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管</p> <p>(ウ)地中配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管 ● ガス用ポリエチレン管</p> <p>● 親メーター ※ 借用 ● 買取（取付け ※ 別途 ● 本工事）</p> <p>● 子メーター ※ 買取 ● 借用（取付け ※ 本工事 ● 別途）</p> <p>● 縦型 ● 横型 ● 借用 ● 買取</p> <p>● 標準図（施工73）の ● 要領（a） ● 要領（b） ● 要領（c）</p> <p>● 標準図（施工74）の ● 要領（a） ● 要領（b）</p> <p>● 不要 ● 要（ ※ 別途工事 ● 本工事 ）</p> <p>● 小規模合併処理（ ● 分離接触ばっ気方式 ● 嫌気ろ床接触ばっ気方式 ● 脱窒ろ床接触ばっ気方式）</p> <p>● その他性能評価を受けた方式（ ）</p> <p>● 合併処理（ ● 接触ばっ気方式 ● 長時間ばっ気方式 ● 回転接触方式 ）</p> <p>● ユニット型 ● 現場施工型</p> <p>● 処理対象人員 人 ● 処理水量 m³/d</p> <p>● 流入BOD 200mg/L ● 放流水質BOD 20mg/L以下</p> <p>● T-N mg/L以下 ● T-P mg/L以下</p> <p>※ 自然流下 ● ポンプ排水</p> <p>● 砂 ● 根切土の中の良質土</p> <p>● 不要 ● 要（図示による）</p> <p>※ 製造者標準仕様（ロック式） ● MHA型（ボルト式）</p> <p>3ヶ月相当分を納入する。</p>	<p>工 事 名</p> <p>図 名</p> <p>縮 尺</p> <p>管理建築士</p> <p>査 図</p> <p>担 当</p> <p>作 図</p> <p>作 図</p> <p>株式会社 ティビーエム（ティビーエム環境設備設計事務所） 鳥取県米子市目久美町34番地2 鳥取県知事登録 第03-888号 一級建築士事務所</p> <p>年月 2026.02</p> <p>頁 03</p> <p>図 番 M-03</p> <p>22 全</p> <p>管理建築士 一級建築士 第34020号（設備設計一級建築士 第4169号） 赤井 優</p>
	建材の内容・箇所	仕様等	処理を行う範囲																																																																												
	タイル下地	モルタル																																																																													
	防水層	アスファルト防水材																																																																													
	設計用標準水平震度	● 特定の施設	● 一般の施設																																																																												
	設置場所	● 重要機器	● 一般機器																																																																												
	上 層 階 屋上、塔屋	機 器	2.0 1.5 1.5 1.0																																																																												
		防振設置機器	2.0 2.0 2.0 1.5																																																																												
	中 間 階	機 器	1.5 1.0 1.0 0.6																																																																												
		防振設置機器	1.5 1.5 1.5 1.0																																																																												
地階・1階	機 器	1.0 1.0 1.0 0.6																																																																													
	防振設置機器	1.0 1.0 1.0 0.6																																																																													
	外気条件		室内（調整目標値）																																																																												
			一 般		（ ）																																																																										
	温度	湿度	温度	湿度	温度	湿度																																																																									
夏季	(DB)	(RH)	(DB)	(RH)	(DB)	(RH)																																																																									
	℃	%	28.0	℃	%	℃	%																																																																								
冬季	℃	%	19.0	℃	%	℃	%																																																																								





工事概要

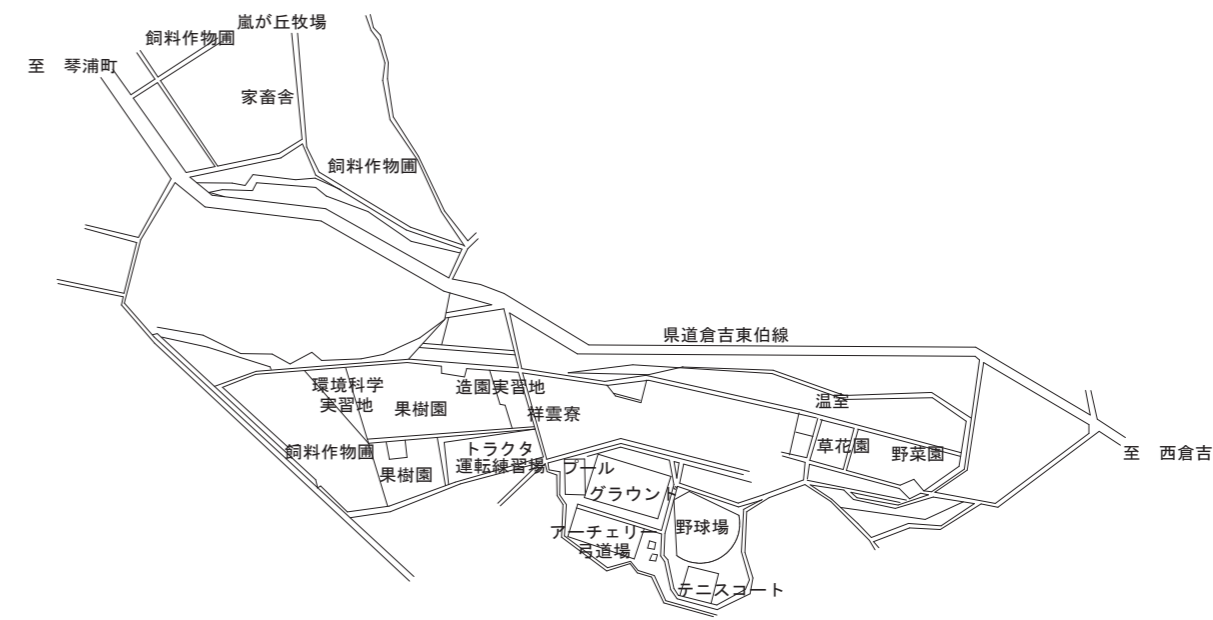
祥雲寮北棟の以下のトイレの洋式化を行う。

- ・1階男子便所（和式7）→洋式5
- ・2階女子便所（和式7）→洋式5
- ・上記に伴う配管・電気設備工事
- ・既設和風便器撤去、配管撤去等
- ・床復旧（仕上共）、天井改修、トイレブース撤去・新設

特記事項

※ 部分は工事建物を示す。

配置図 S = 1 / 1500



付近見取図



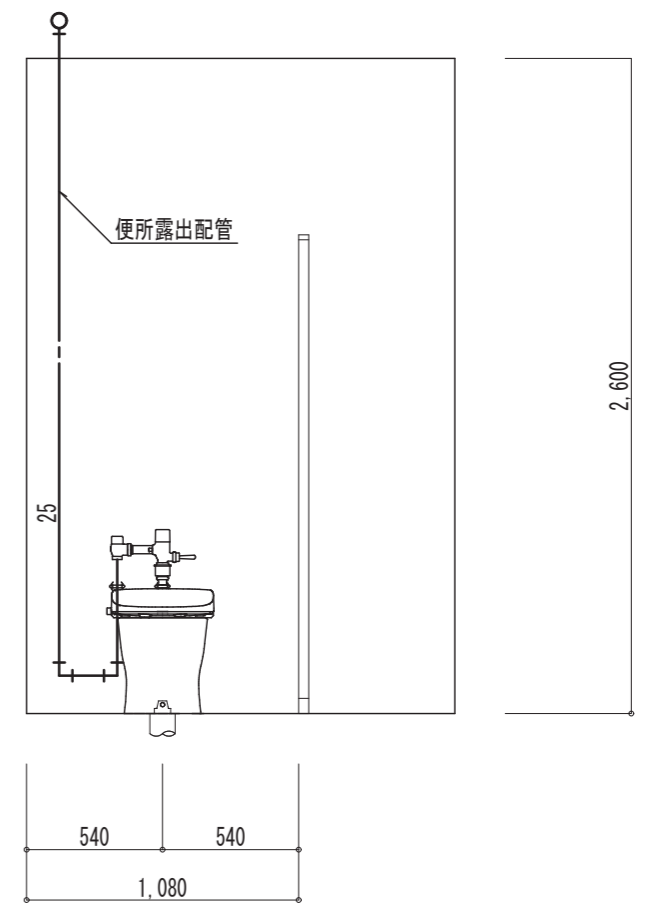
工事名 県立倉吉農業高等学校祥雲寮北側トイレ洋式化改修工事	図名 配置図、付近見取図	縮尺	管理建築士	査図	担当	作図	作図	株式会社 ティビィエム (ティビィエム環境設備設計事務所) 鳥取県米子市目久美町34番地2 鳥取県知事登録 第03-888号 一級建築士事務所 管理建築士 一級建築士 第344020号 (設備設計一級建築士 第4169号) 赤井 優	年月	2026.02	頁	04
		1/1500	赤井	神原	今本	今本	図番		M-04	22	全	

衛生器具表 (改修後)

名 称	参考品番 (TOTO)	仕 様 (付 属 品)	階 数		数 量	備 考
			1階 北男子便所	2階 北女子便所		
洋風大便器	CFS494M	TV565CP(床給水フラッシュバルブ)、TCF116(暖房便座)、HP430-7(床排水フランチ)、T56PH(ハイグレード)、YH702(棚付二連紙巻器)	5	5	10	
擬音装置 (再取付)	既設品	露出型、乾電池タイプ		5	5	

凡例 (改修後)

記 号	名 称	摘 要	
———	給水管	屋内一般	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-VB)
———	排水管	屋内一般	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
-----	通気管	屋内一般	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
----- -----			既設配管接続部を示す。



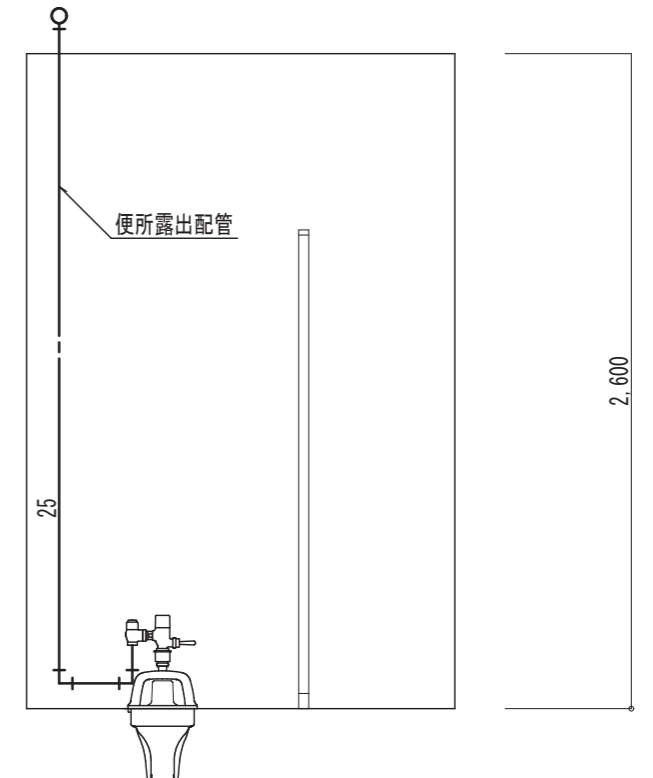
便所給水管接続 参考断面図 (改修後) S = 1 / 30

衛生器具表 (撤去)

名 称	品 番	仕 様 (付 属 品)	階 数		数 量	備 考
			1階 北男子便所	2階 北女子便所		
和風大便器	C375V	K150AC(フラッシュバルブ)、T82G32(スリット)、TS116MD(紙巻器)	7	7	14	
擬音装置 (取外し)		露出型、乾電池タイプ		5	5	
擬音装置 (撤去)		露出型、乾電池タイプ		2	2	

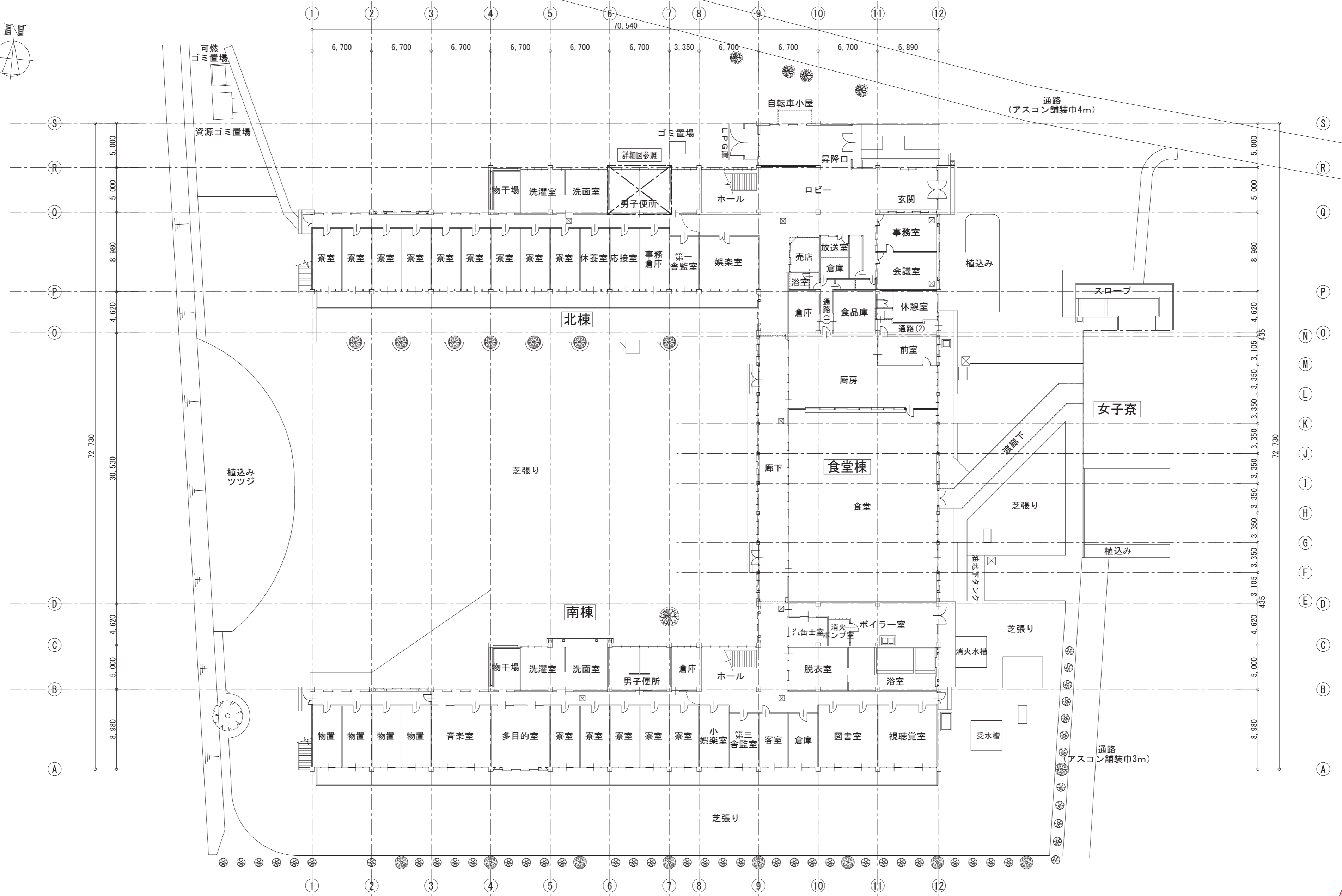
凡例 (撤去)

記 号	名 称	摘 要	
———	給水管	屋内一般	水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管 (SGP-PB)
———	排水管	屋内一般	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
-----	通気管	屋内一般	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
----- -----			既設配管切断部を示す。



便所給水管接続 参考断面図 (撤去) S = 1 / 30

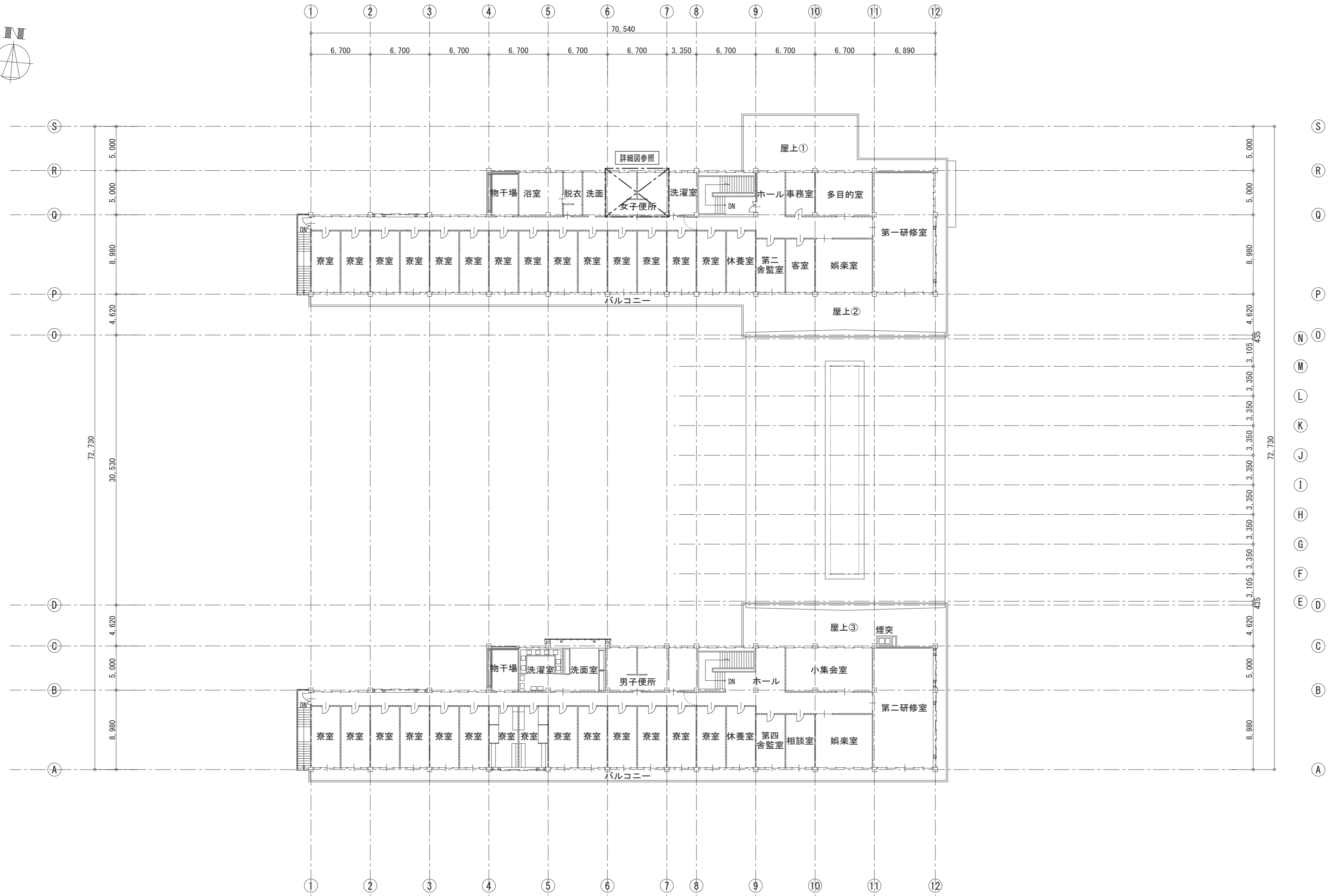
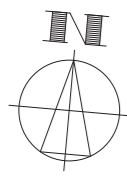
鳥取県
令和7年度
J2500271
中部総合事務所



衛生設備 1階平面図 S = 1/300

鳥取県
令和7年度
J2500271
中部総合事務所

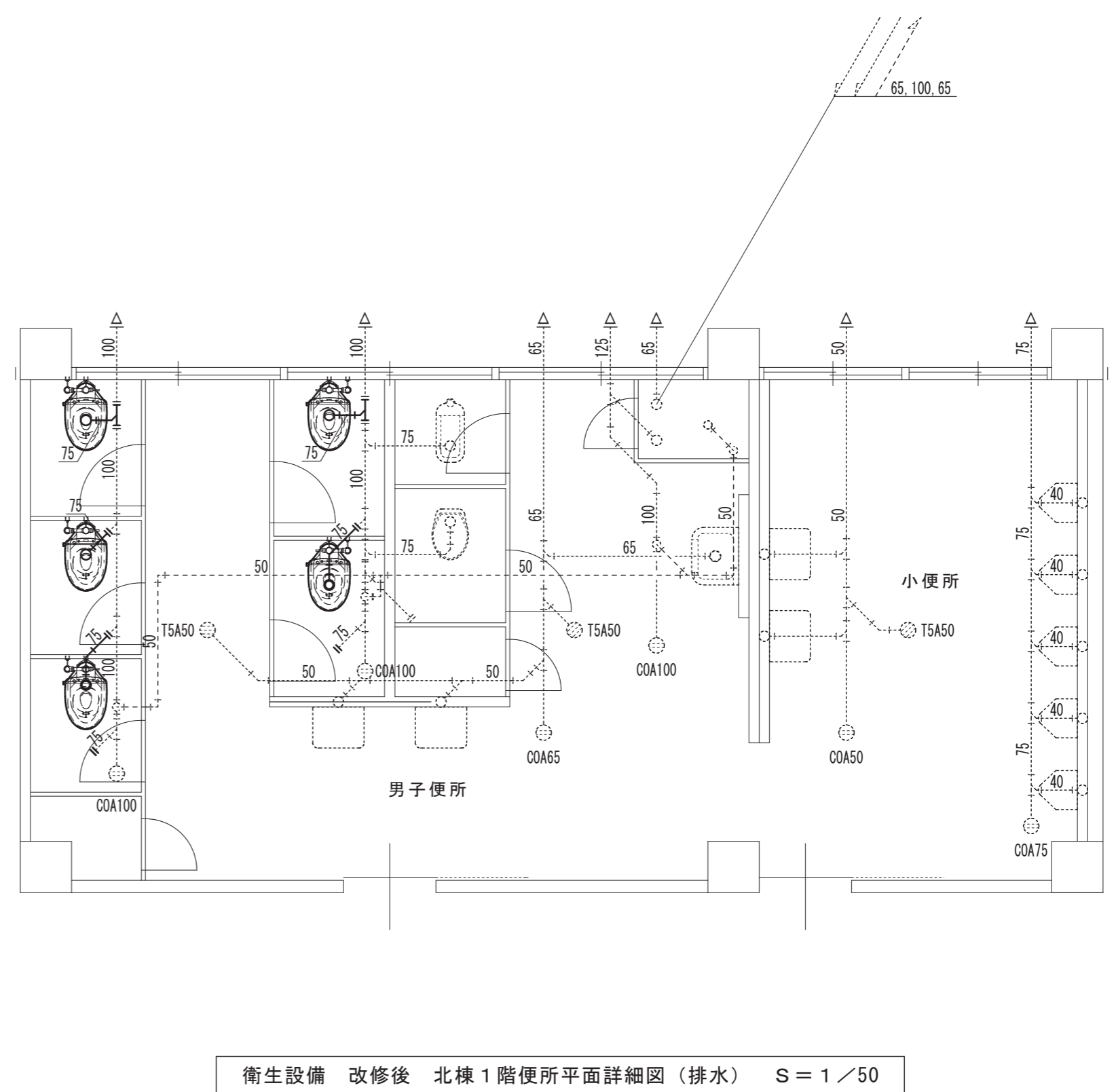
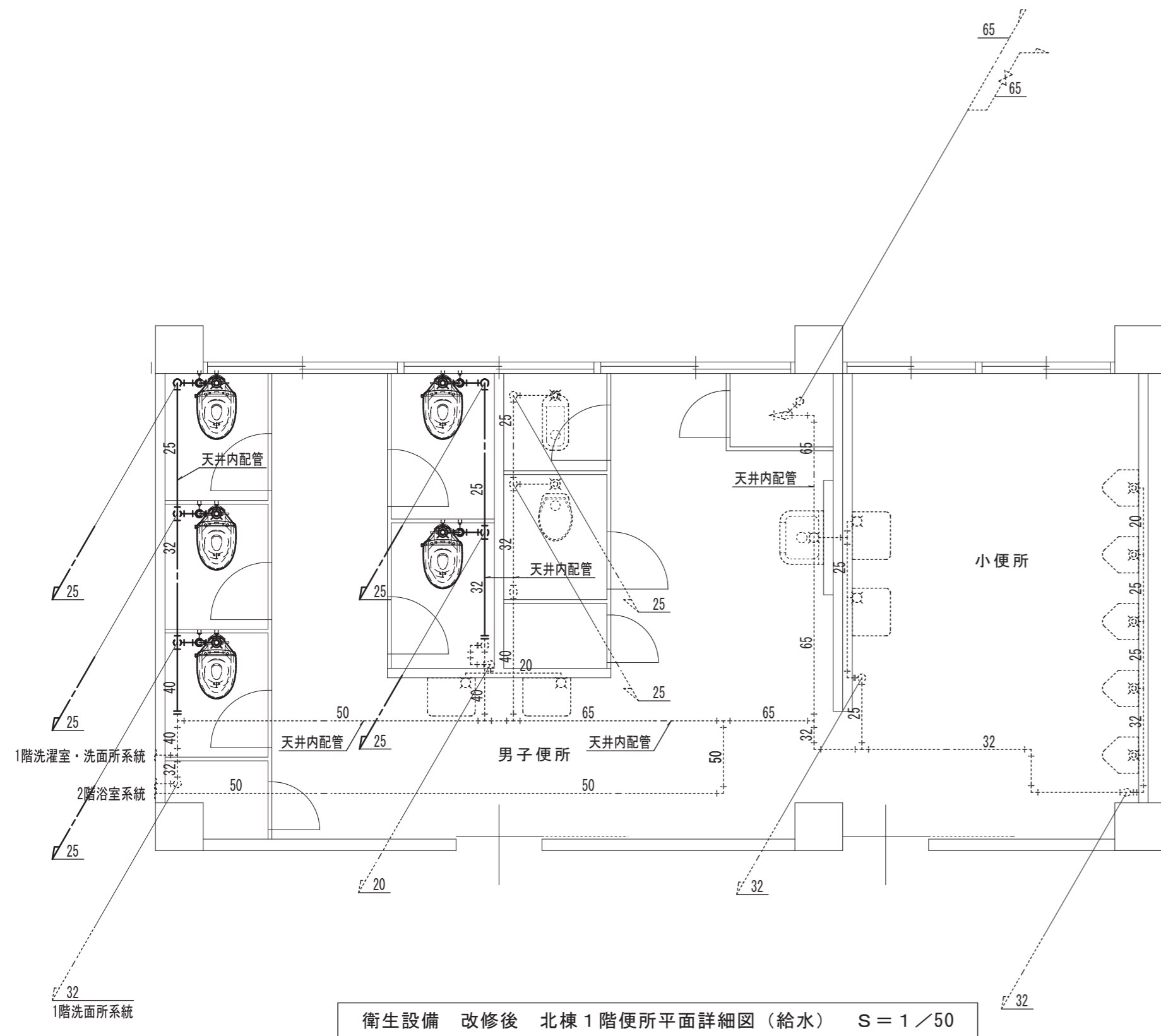
工事名 県立倉吉農業高等学校祥雲寮北側トイレ洋式化改修工事	図名 衛生設備 1階平面図	縮尺	管理建築士	査図	担当	作図	作図	TBM 株式会社 ティビエム (ティビエム環境設備設計事務所) 鳥取県米子市目久美町34番地2 鳥取県知事登録 第03-888号 一級建築士事務所 管理建築士 一級建築士 第344020号 (設備設計一級建築士 第4169号) 赤井 優	年月	2026.02	頁	06
		1/300	赤井	神原	今本	今本	図番		M-06	22	全	



衛生設備 2階平面図 S = 1/300

鳥取県
令和7年度
J2500271
中部総合事務所

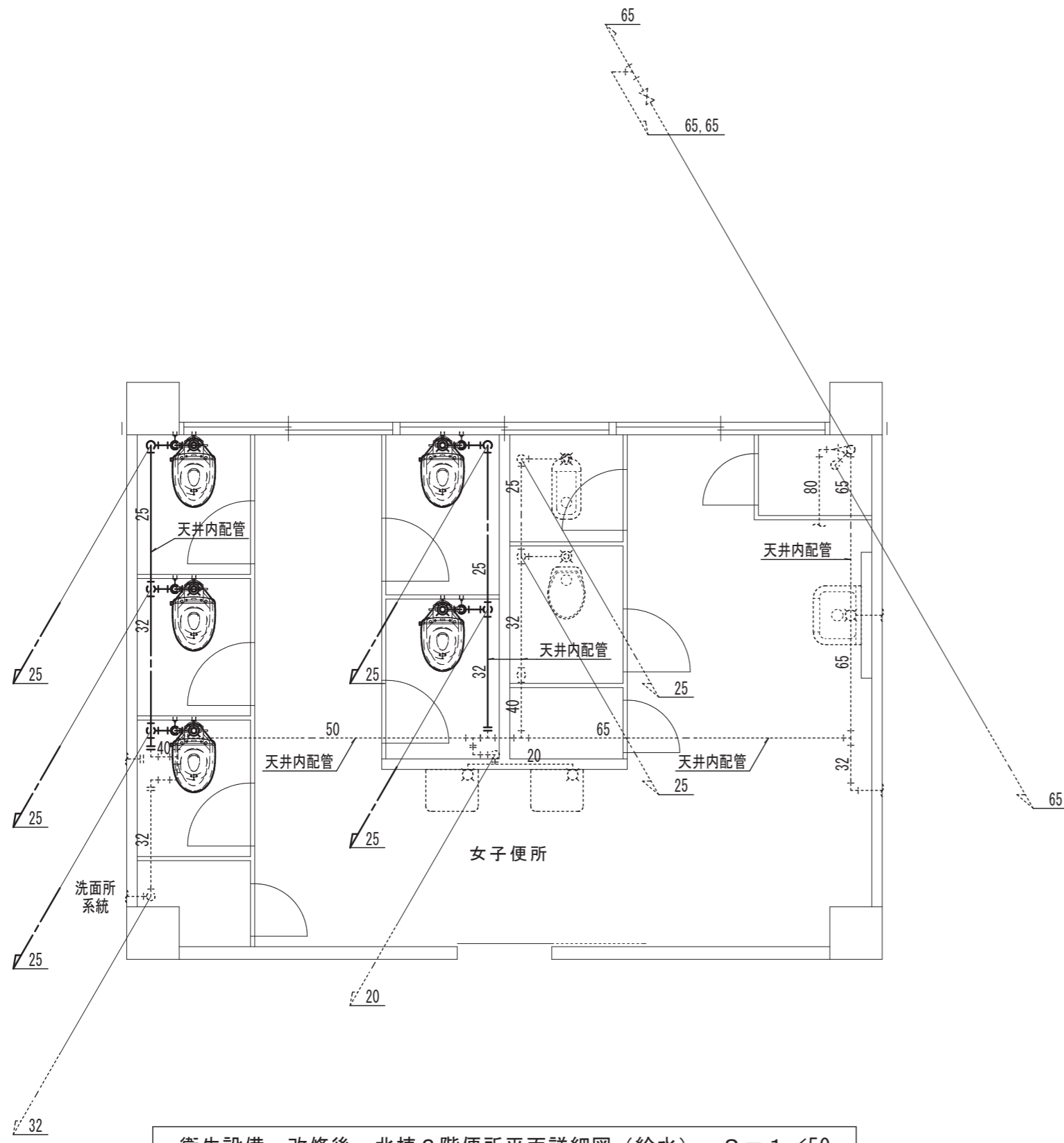
工事名 県立倉吉農業高等学校祥雲寮北側トイレ洋式化改修工事	図名 衛生設備 2階平面図	縮尺	管理建築士	査図	担当	作図	作図	株式会社 ティビエム (ティビエム環境設備設計事務所) 鳥取県米子市目久美町34番地2 鳥取県知事登録 第03-888号 一級建築士事務所 管理建築士 一級建築士 第344020号 (設備設計一級建築士 第4169号) 赤井 優	年月	2026.02	頁	07
		1/300	赤井	神原	今本	今本	図番		M-07	22	全	



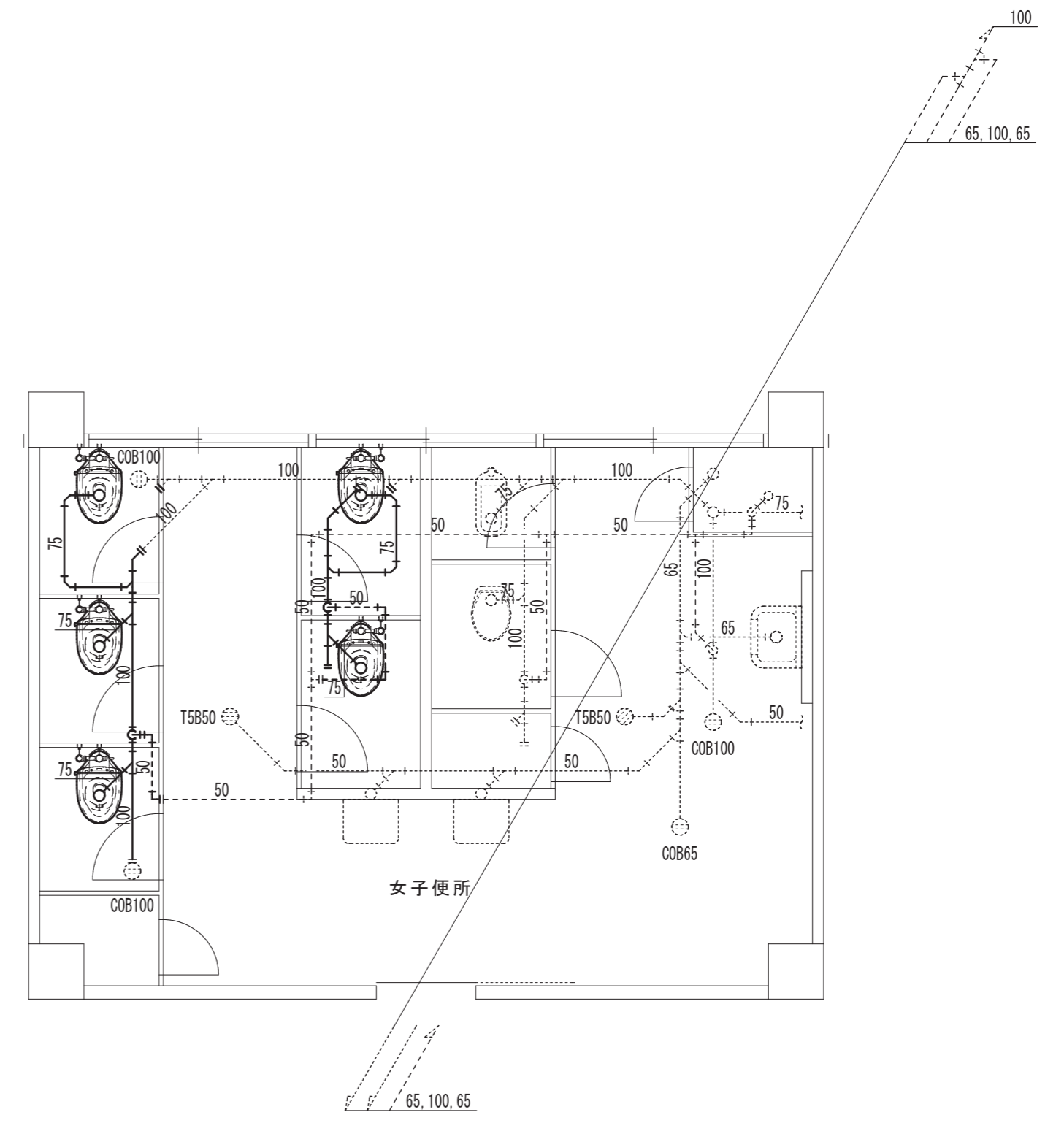
- 特記事項
1. ——— 部は新設器具・配管を示す
 2. - - - - - 部は既設器具・配管を示す。
 3. 既設配管ルートを図面でよく調査を行ってから施工を行うこと。

鳥取県
令和7年度
J2500271
中部総合事務所

工事名 県立倉吉農業高等学校祥雲寮北側トイレ洋式化改修工事	図名 衛生設備 改修後 北棟1階便所平面詳細図 (給水・排水)	縮尺	管理建築士	査図	担当	作図	作図	株式会社 ティビエム (ティビエム環境設備設計事務所) 鳥取県米子市目久美町34番地2 鳥取県知事登録 第03-888号 一級建築士事務所 管理建築士 一級建築士 第344020号 (設備設計一級建築士 第4169号) 赤井 優	年月	2026.02	頁	08
		1/50	赤井	神原	今本	今本			図番	M-08	22	全



衛生設備 改修後 北棟2階便所平面詳細図(給水) S = 1/50



衛生設備 改修後 北棟2階便所平面詳細図(排水) S = 1/50

- 特記事項
1. ——— 部は新設器具・配管を示す
 2. - - - - - 部は既設器具・配管を示す。
 3. 既設配管ルートを図面でよく調査を行ってから施工を行うこと。

鳥取県
令和7年度
J2500271
中部総合事務所

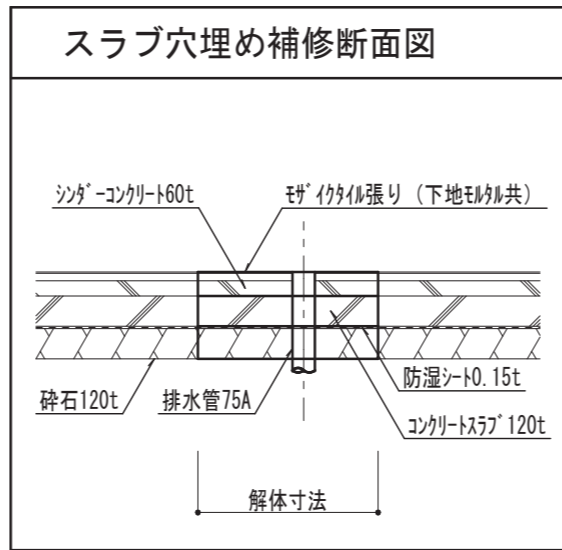
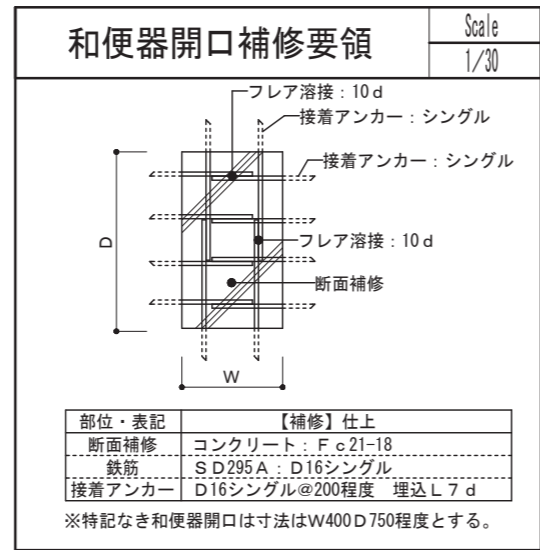
工事名 県立倉吉農業高等学校祥雲寮北側トイレ洋式化改修工事	図名 衛生設備 改修後 北棟2階便所平面詳細図 (給水・排水)	縮尺	管理建築士	査図	担当	作図	作図	株式会社 ティビーエム (ティビーエム環境設備設計事務所) 鳥取県米子市目久美町34番地2 鳥取県知事登録 第03-888号 一級建築士事務所 管理建築士 一級建築士 第344020号(設備設計一級建築士 第4169号) 赤井 優	年月	2026.02	頁	09
		1/50	赤井	神原	今本	今本			図番	M-09	22	全

凡例表	
記号	表記
	床スラブ撤去復旧範囲
	床はつり箇所を示す。
	配管スリーブ箇所を示す。

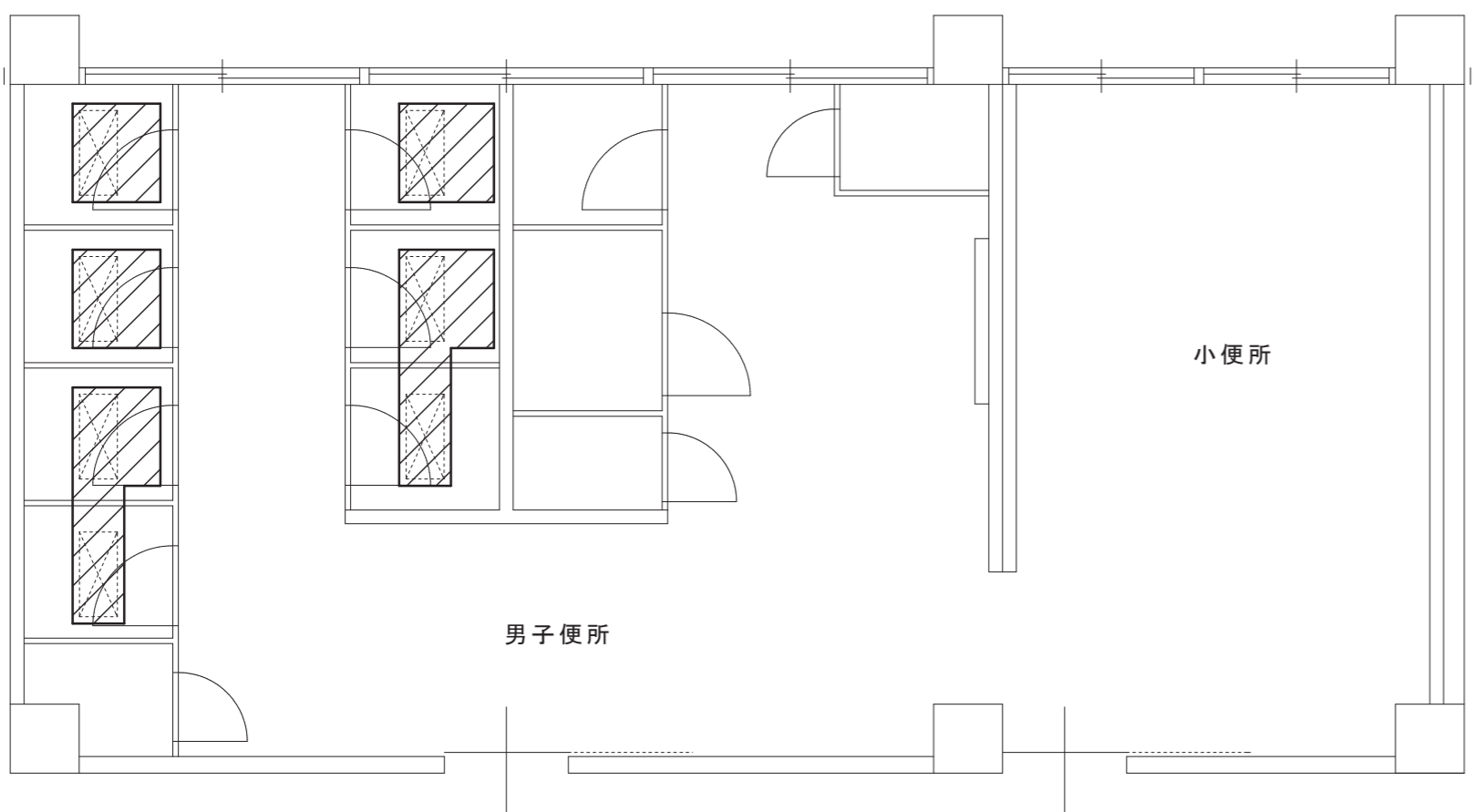
★仕上凡例 (改修前・後)

部位	仕上げ
床	モザイクタイル
	シンターコンクリート t.60
	防湿シート t.0.15
	コンクリートスラブ t.120
	砕石 t.120

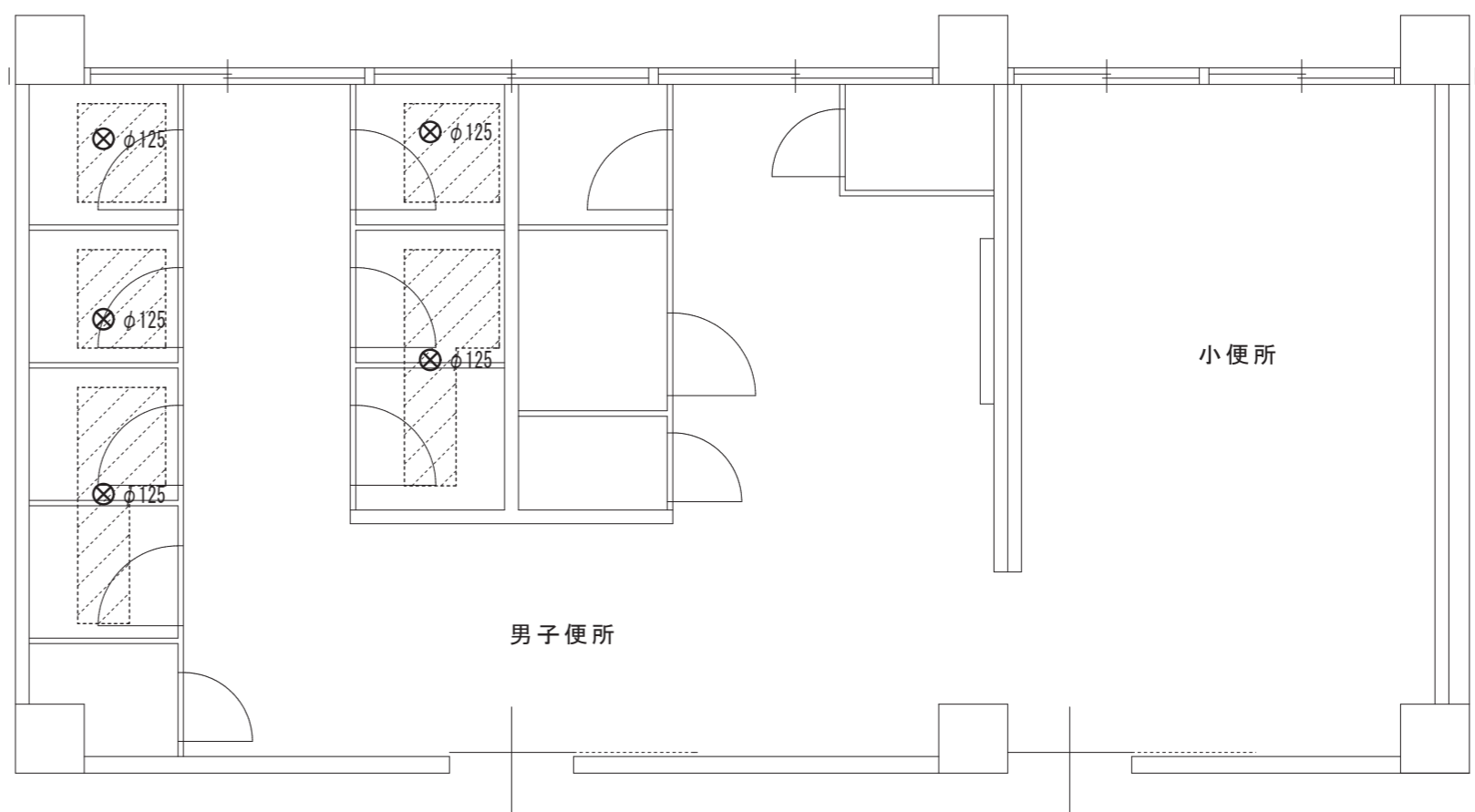
部位	スラブ仕上
床スラブ	コンクリート : F.c=21-18-20 厚120
上筋	鉄筋(短辺) S D295 A : D10・D13交互@200
	鉄筋(長辺) S D295 A : D10@250
下筋	鉄筋(短辺) S D295 A : D10@200
	鉄筋(長辺) S D295 A : D10@250



床穴開け補修表							
床スリーブ	階	施工場所	名称	配管径	開口寸法	開口長さ	数量
	1	床	排水管	75A	125φ	200	5



衛生設備 北棟1階便所床はつり参考図 S=1/50



衛生設備 北棟1階便所配管はつり参考図 S=1/50

- 特記事項
1. 既設和風大便器撤去時に便器周囲はつりを行う。
 2. 和風大便器撤去後、差筋アンカーを設置すること。
 3. 床スラブ復旧時の仕上げは、既存同様とする。

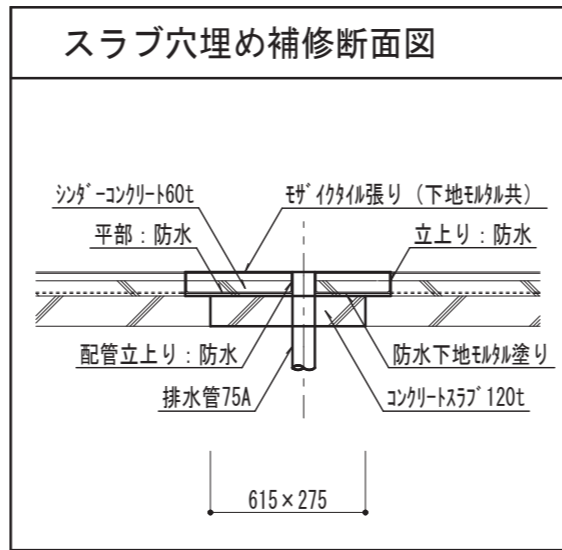
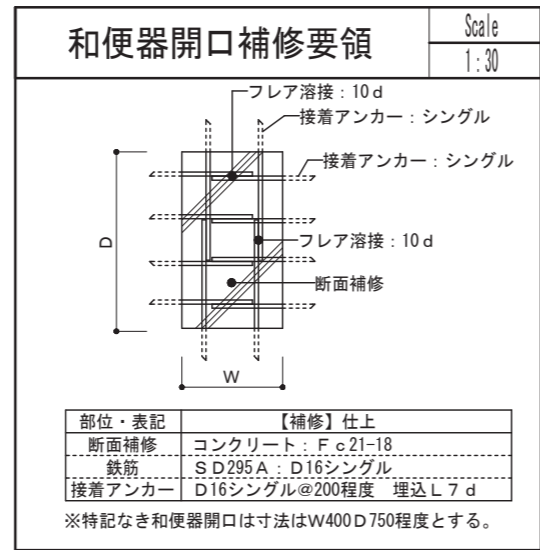


凡例表	
記号	表記
	床スラブ撤去復旧範囲
	床はつり箇所を示す。
	配管スリーブ箇所を示す。

★仕上凡例 (改修前・後)

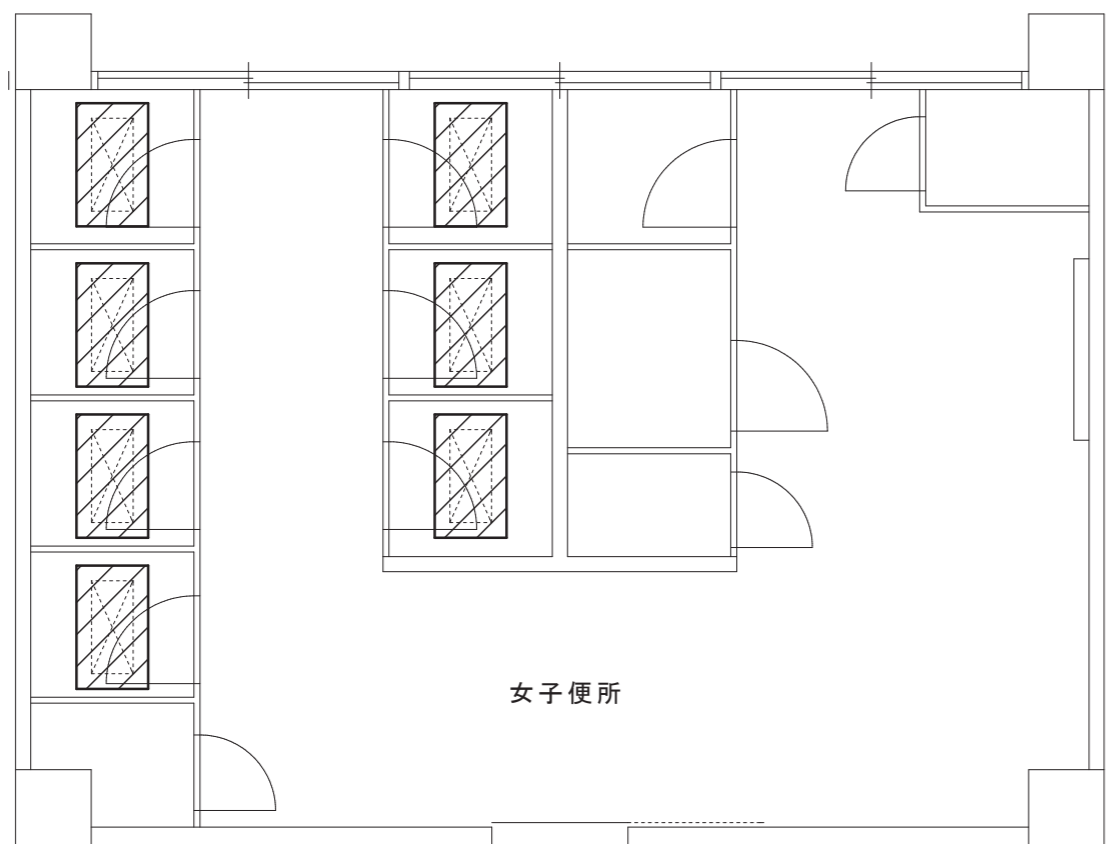
部位	仕上げ
床	モザイクタイル シンターコンクリート t60 アスファルト防水 コンクリートスラブ t120

部位	スラブ仕上
床スラブ	コンクリート: Fc=21-18-20 厚120
上筋	鉄筋(短辺) S D295 A : D10・D13交互@200 鉄筋(長辺) S D295 A : D10@250
下筋	鉄筋(短辺) S D295 A : D10@200 鉄筋(長辺) S D295 A : D10@250

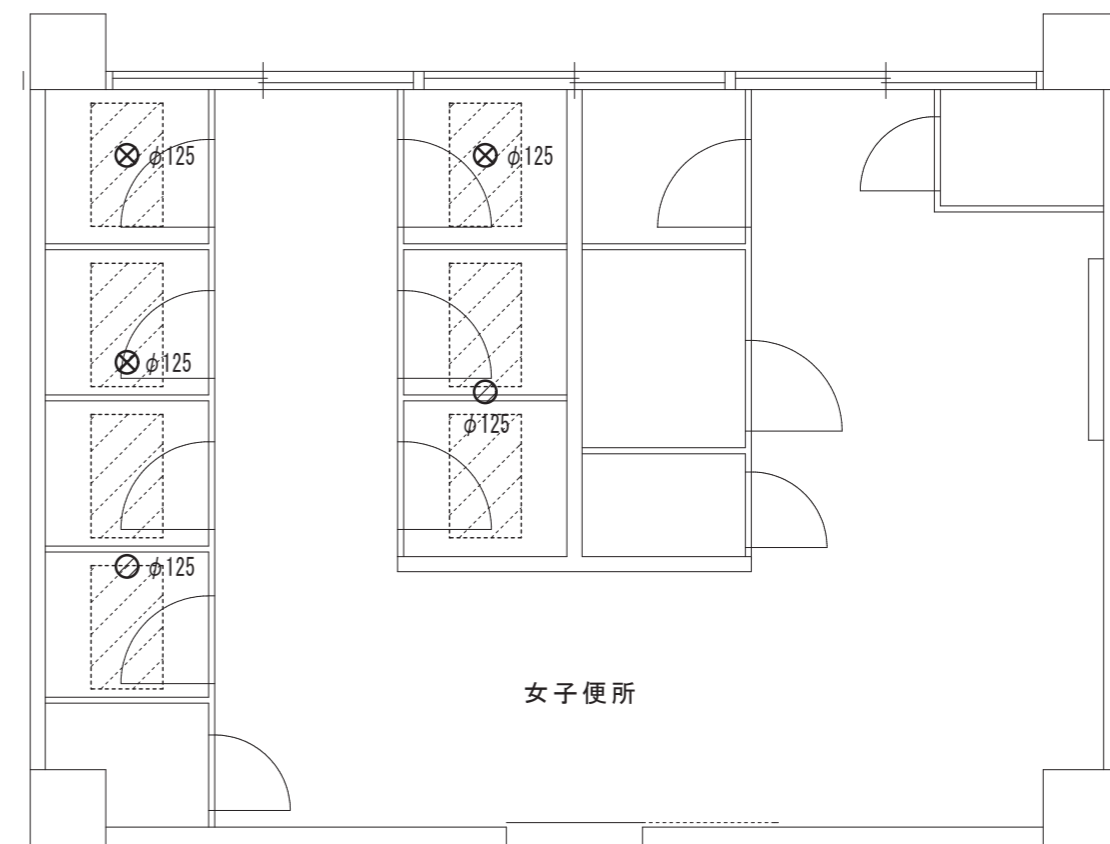


床穴開け補修表

階	施工場所	名称	配管径	開口寸法	開口長さ	数量
2	床	排水管	75A	125φ	200	2
2	床	排水管	75A	125φ	200	3



衛生設備 北棟2階便所床はつり参考図 S=1/50





衛生設備 北棟2階便所配管はつり参考図 S=1/50

特記事項

1. 既設和風大便器撤去時に便器周囲はつりを行う。
2. 和風大便器撤去後、差筋アンカーを設置すること。
3. 床スラブ復旧時の仕上げは、既存同様とする。
4. 改質水性アスファルト系常温工法防水(Y-2工法)にて防水補修を行う。

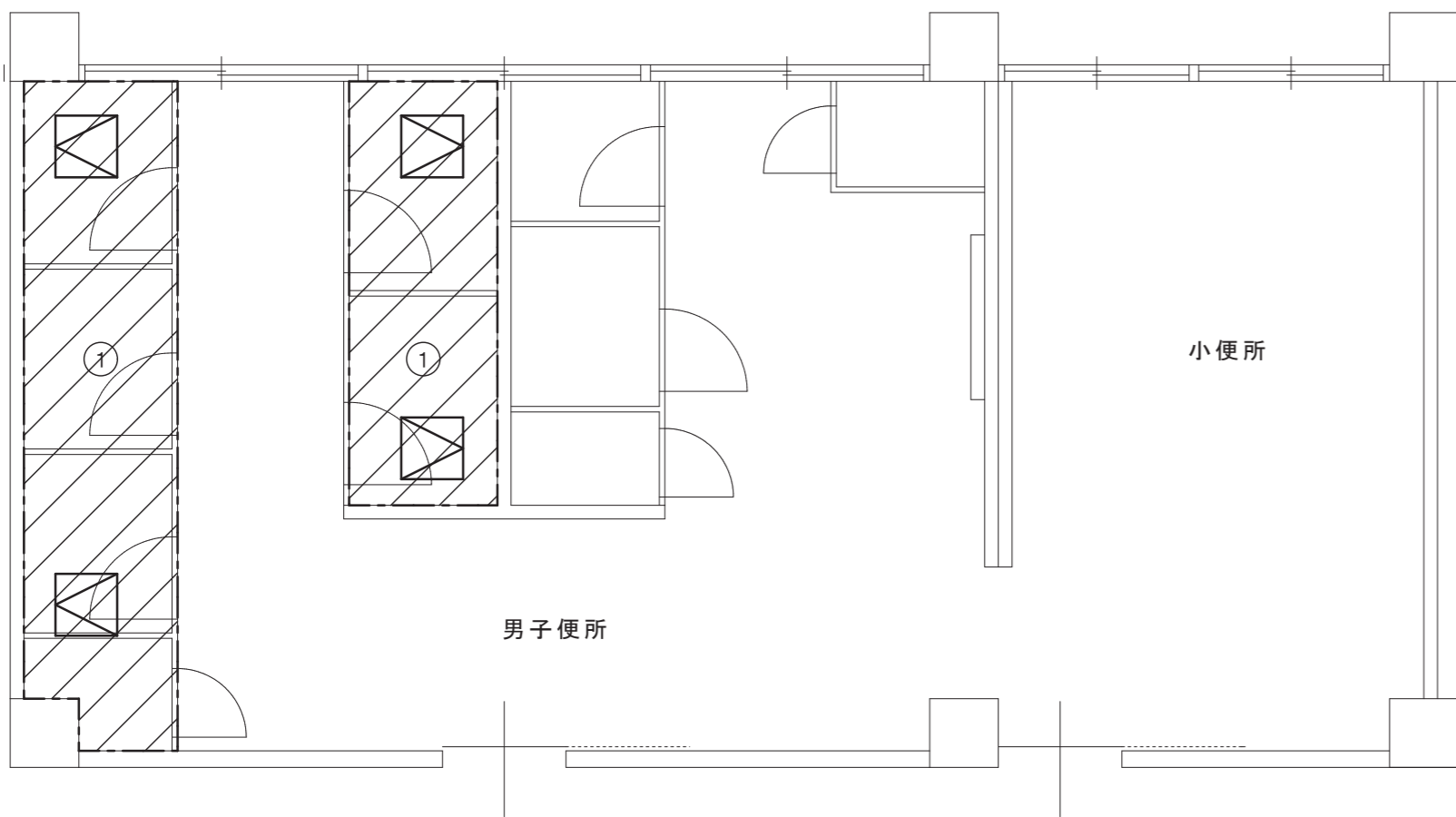


凡例

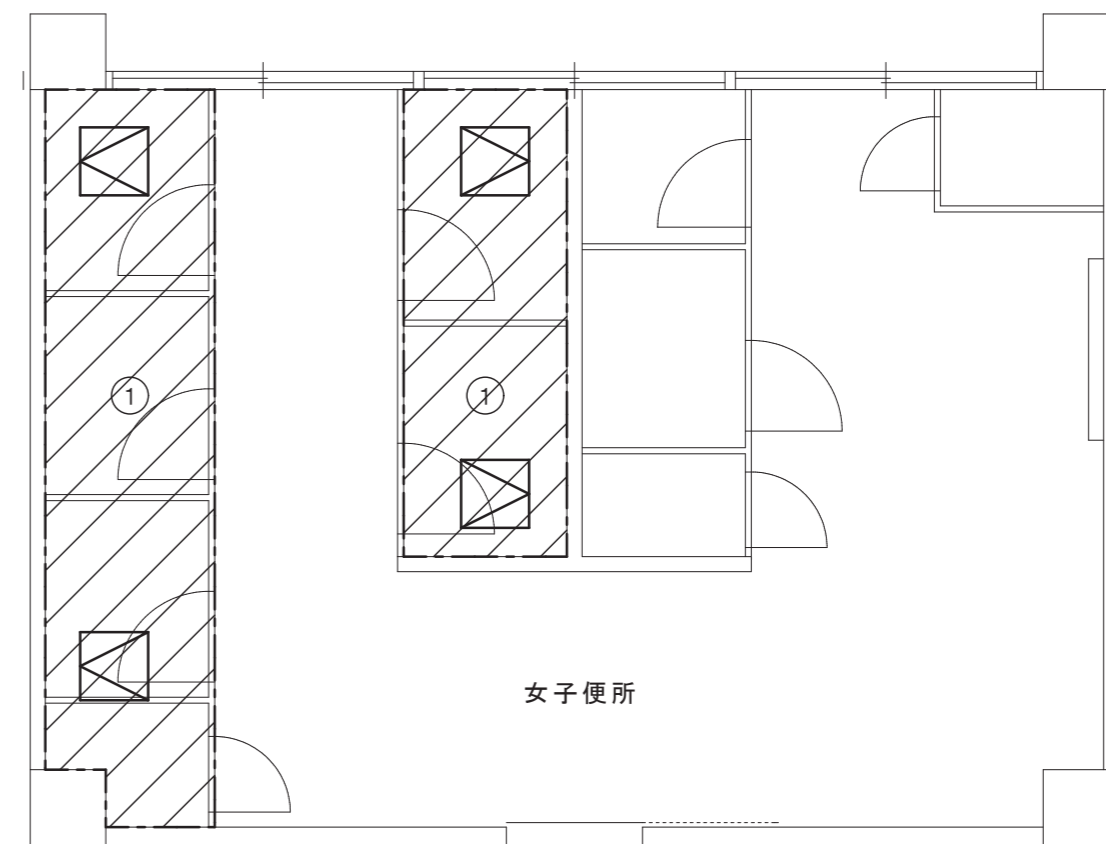
記号	名称	新設	撤去
	天井材撤去・復旧範囲（木下地部分補修共） ※1階部分は下地改修も行う。	—	—
	天井点検口新設（450×450）	8	
	天井点検口撤去（450×450）		5

改修前・後 天井材仕上げ

番号	天井仕上材	
①	改修前	化粧石膏ボード9t
	改修後	化粧石膏ボード9.5t



衛生設備 北棟1階便所天井伏図 S=1/50



衛生設備 北棟2階便所天井伏図 S=1/50

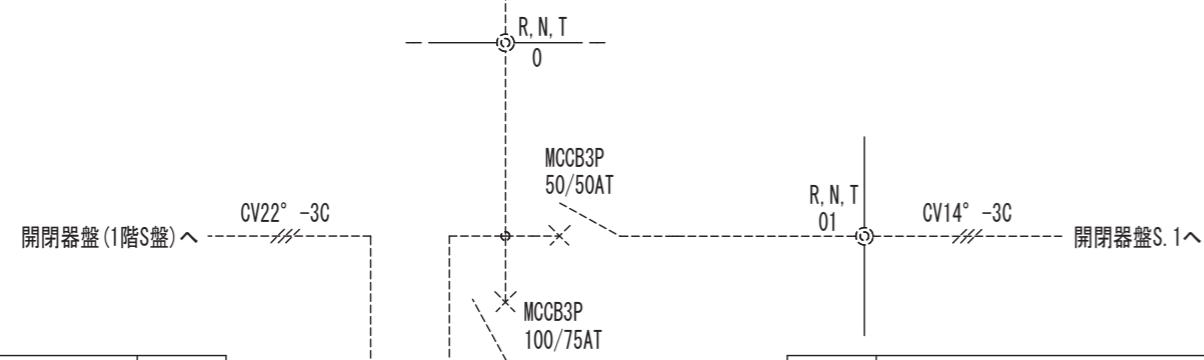


特記事項

- 作業範囲には十分な養生を適切に実施し、作業の際は粉塵等に注意すること。

銅板製 W600×H880×D160

P-L分電盤 (P-L間プルボックス)より
1φ3W210/105V
IV38°×3



負荷名称	回路番号	負荷名称	回路番号
火報受信機	(A)	誘導灯	(B)
非常用照明	(C)	ロビー電灯	(1)
事務室電灯	(2)	売店電灯	(3)
電灯受口倉監他	(4)	電灯便所洗面他	(5)
聴室電灯	(6)	食品庫電灯	(7)
電灯外部ポール	(8)	事務室受口	(9)
休養室受口	(10)	予備	(11)
受口洗濯場	(12)	受口洗濯場	(13)
売店ロッカー	(14)	ファンコンベクター	(15)
給湯器受口	(16)	受口ローカ	(17)
受口洗面	(18)	受口洗面	(19)

MCCB1P 50/20AT×9
MCCB2P 50/20AT×3
ELCB2P 50/20AT×10

L-12分電盤 既設 結線図

銅板製 W400×H300×D150

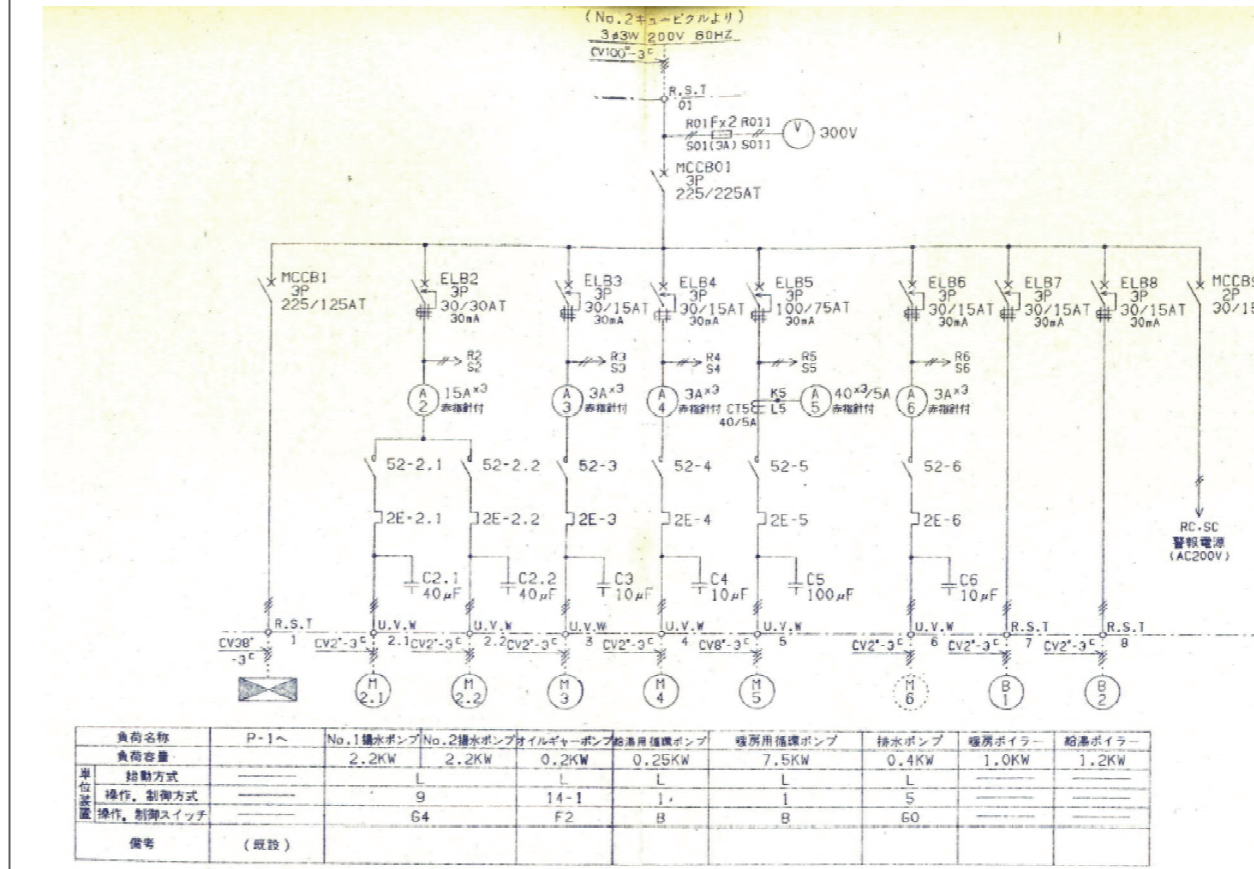
開閉器盤 (2階S盤)より
1φ3W210/105V
CV14°-3C

負荷名称	回路番号	負荷名称	回路番号
脱衣コンセント	(1)	洗面コンセント①	(2)
洗面コンセント②	(3)	洗面コンセント③	(4)
洗面コンセント④	(5)	洗面コンセント⑤	(6)
洗面コンセント⑥	(7)	洗面コンセント⑦	(8)
洗面コンセント⑧	(9)	洗面コンセント⑨	(10)
洗面コンセント⑩	(11)	女子便所コンセント1	(12)
女子便所コンセント2	(13)	予備	(14)

ELCB2P 50/20AT×2 新設
MCCB2P 30/20AT×12

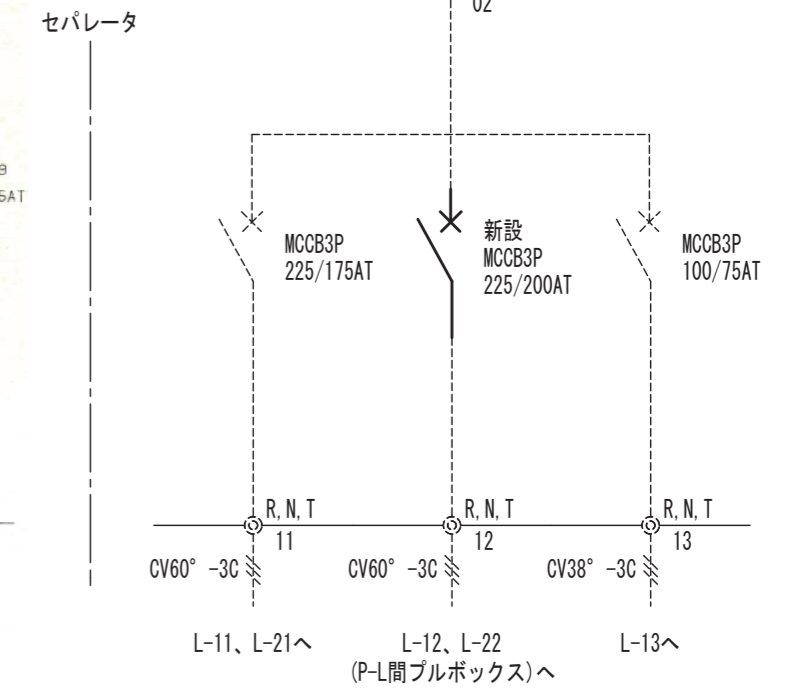
女子寮 (北) 2階廊下洗面用分電盤 改修後 結線図

銅板製 W1200×H2050×D300



P-L分電盤 改修後 結線図

(No. 2キュービクルより)
1φ3W210/105V
CV150°-3C

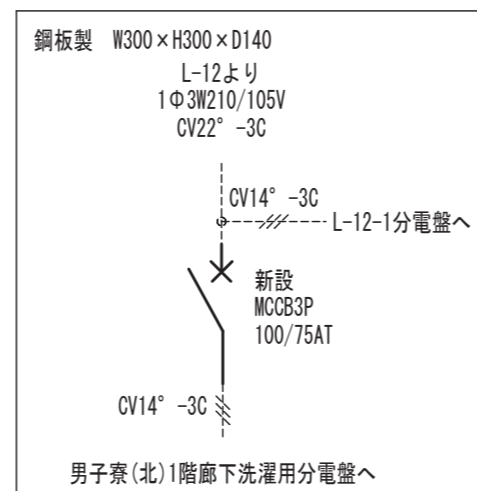


樹脂製露出・半埋込両用型 市販品 ドア付

開閉器盤 (1階S盤)より
1φ3W210/105V
CV14°-3C

負荷名称	回路番号	負荷名称	回路番号
乾燥機コンセント	(1)	乾燥機コンセント	(2)
乾燥機コンセント	(3)	乾燥機コンセント	(4)
女子便所コンセント1	(7)	女子便所コンセント2	(8)
予備	(9)	予備	(10)

ELCB2P 50/20AT×8 新設

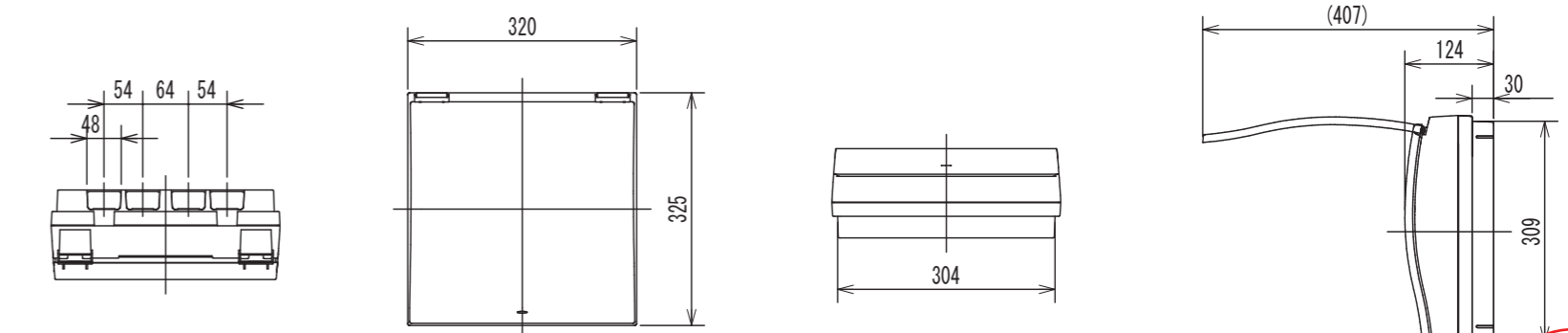


開閉器盤 (1階S盤) 改修後 結線図

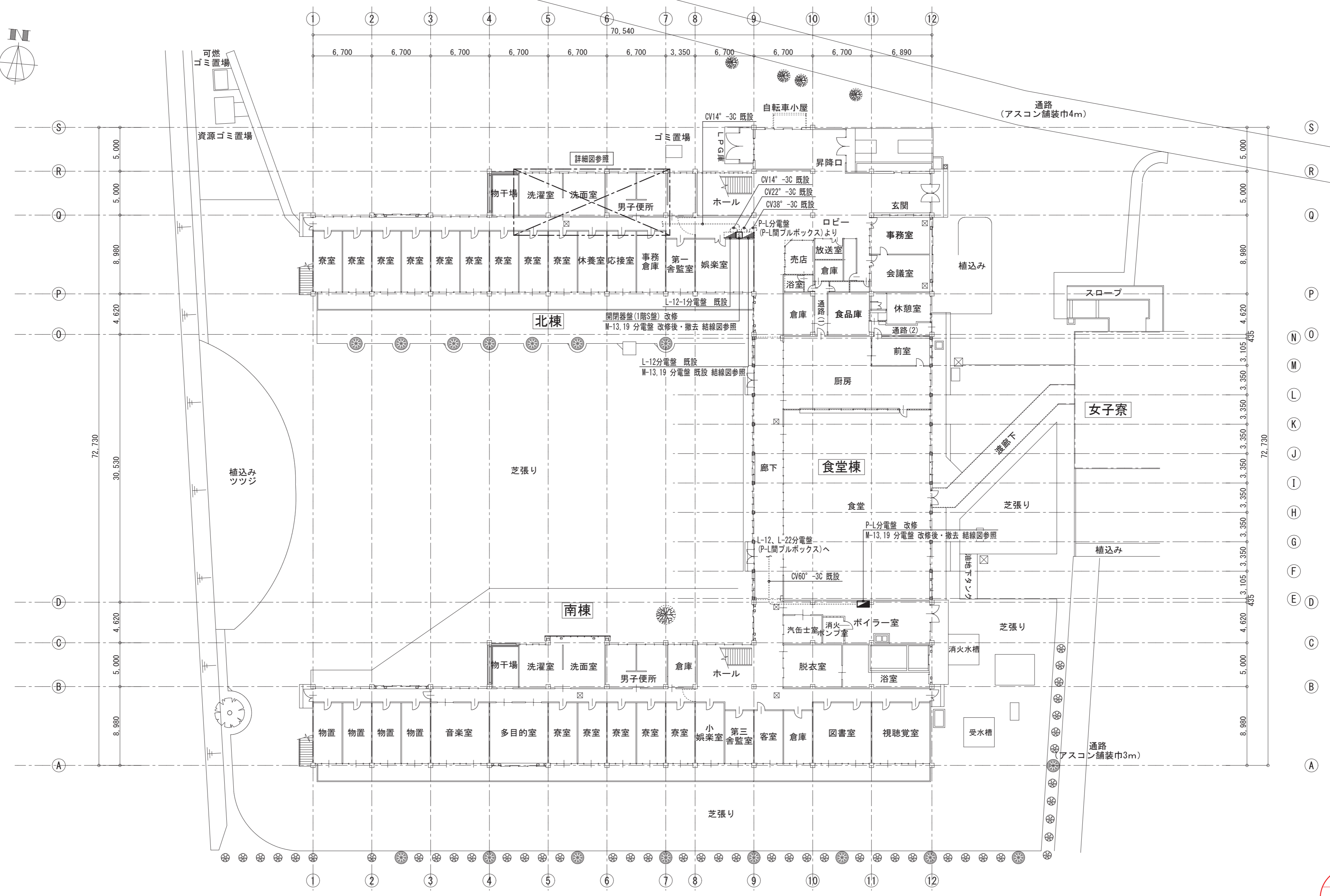
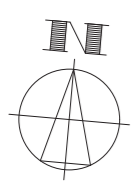
特記事項

- 部は新設を示す。
- 部は既設を示す。
- 開閉器盤 (1階S盤) のブレーカーの取り替えはL-12分電盤の主幹ブレーカーを切りにして行う。その際、回路番号Cと1~19までの負荷とL-12分電盤の負荷が短時間使用できなくなるため事前に学校側と時間を調整すること。

男子寮 (北) 1階廊下洗濯用分電盤 新設 結線図、参考姿図



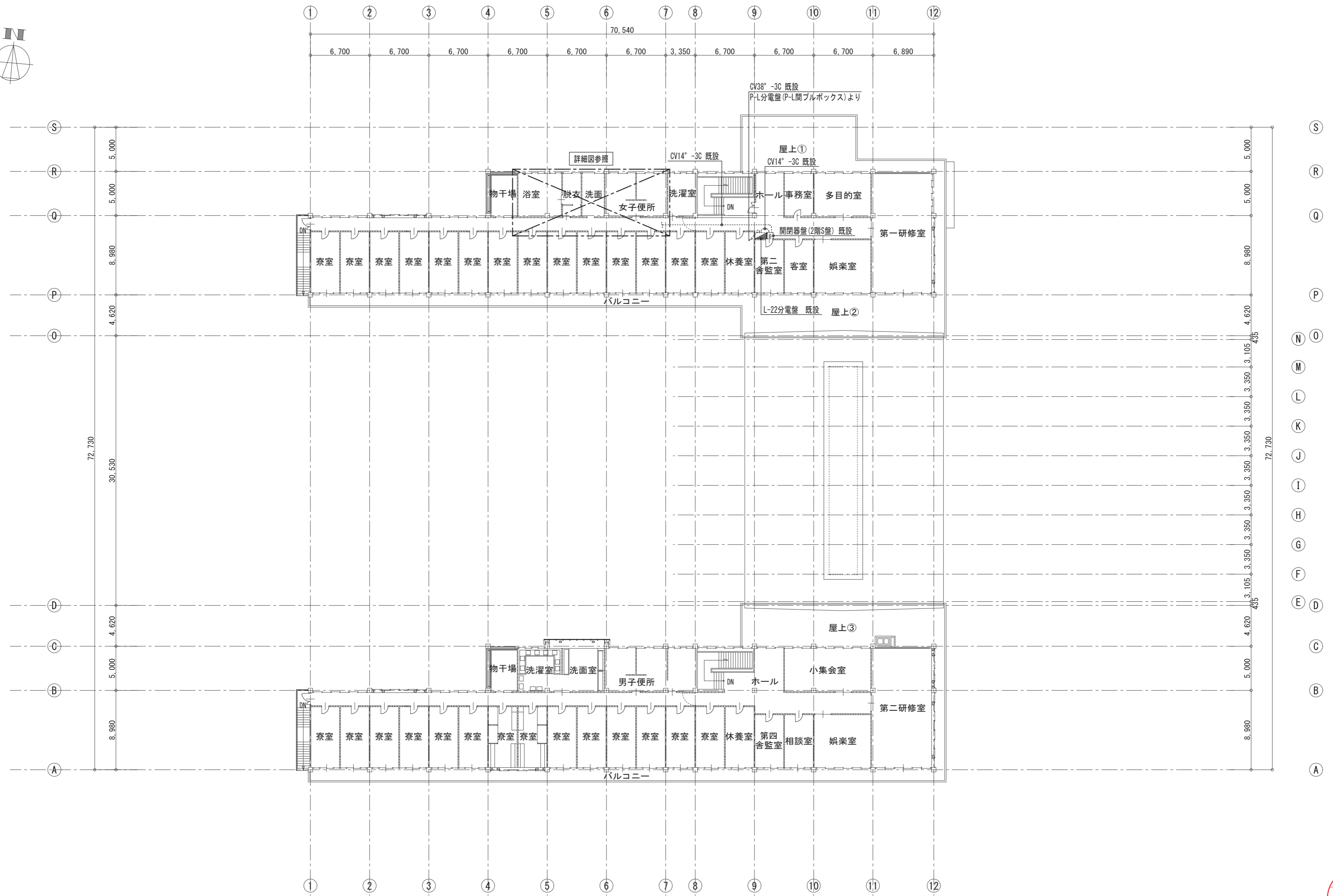
鳥取県
令和7年度
J2500271
中部総合事務所



コンセント設備 1階平面図 S = 1/300



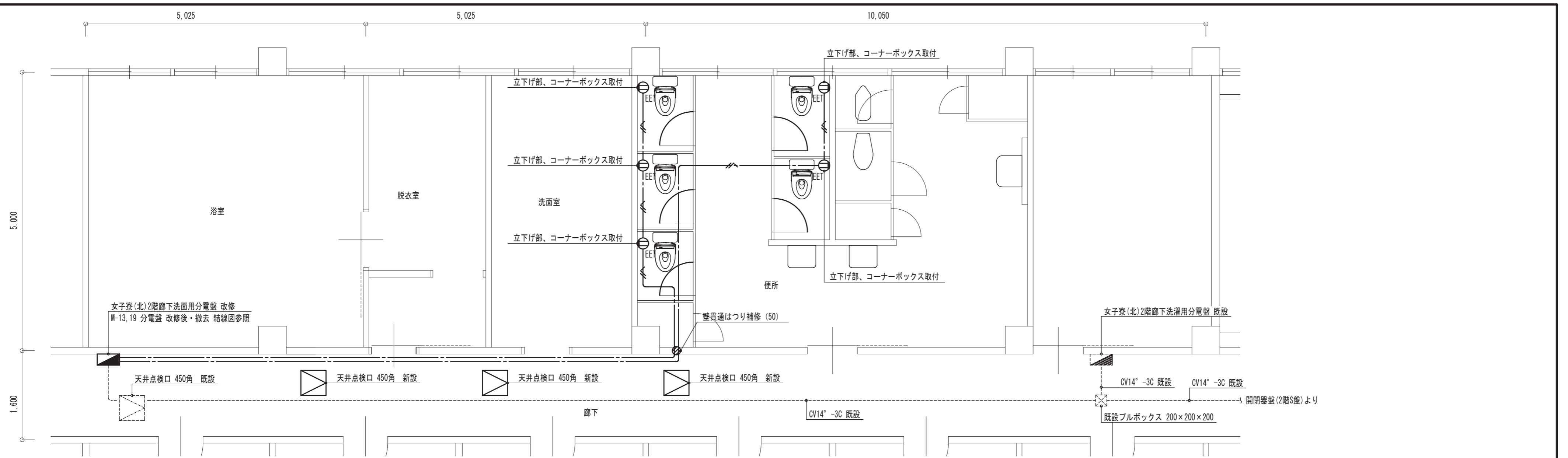
工事名 県立倉吉農業高等学校祥雲寮北側トイレ洋式化改修工事	図名 コンセント設備 1階平面図	縮尺	管理建築士	査図	担当	作図	作図	株式会社 ティビエム (ティビエム環境設備設計事務所) 鳥取県米子市目久美町34番地2 鳥取県知事登録 第03-888号 一級建築士事務所 管理建築士 一級建築士 第344020号 (設備設計一級建築士 第4169号) 赤井 優	年月	2026.02	頁	14
		1/300	赤井	神原	今本	園山	図番		M-14	22	全	



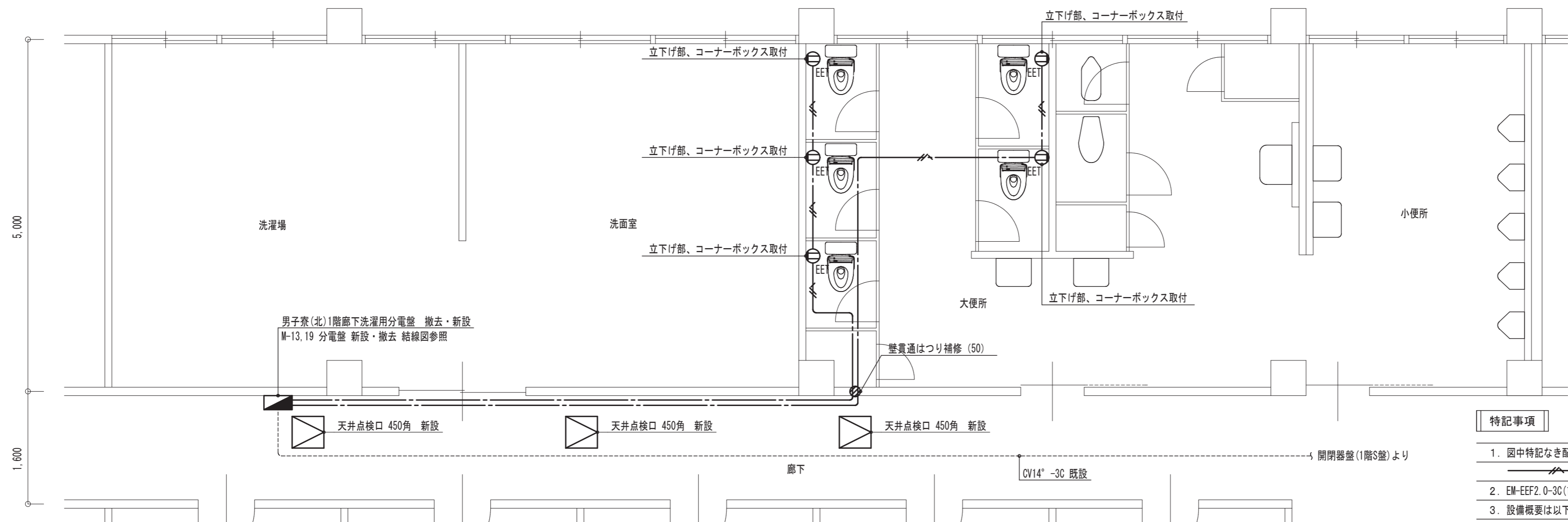
コンセント設備 2階平面図 S = 1/300

鳥取県
令和7年度
J2500271
中部総合事務所

工事名 県立倉吉農業高等学校祥雲寮北側トイレ洋式化改修工事	図名 コンセント設備 2階平面図	縮尺	管理建築士	査図	担当	作図	作図	株式会社 ティビエム (ティビエム環境設備設計事務所) 鳥取県米子市目久美町34番地2 鳥取県知事登録 第03-888号 一級建築士事務所 管理建築士 一級建築士 第344020号 (設備設計一級建築士 第4169号) 赤井 優	年月	2026.02	頁	15
		1/300	赤井	神原	今本	園山	図番		M-15	22	全	



コンセント設備 改修後 2階平面詳細図 S=1/50

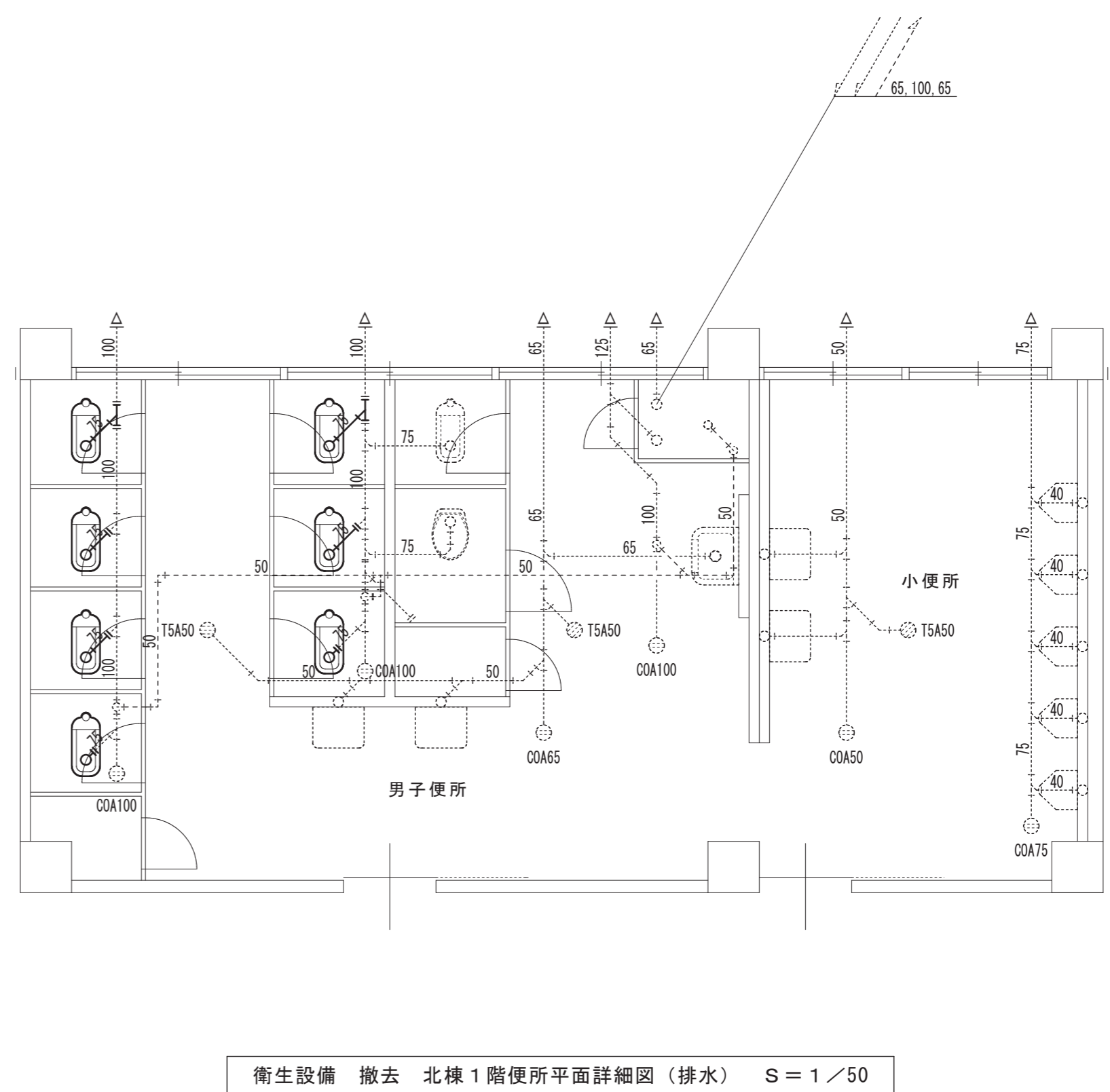
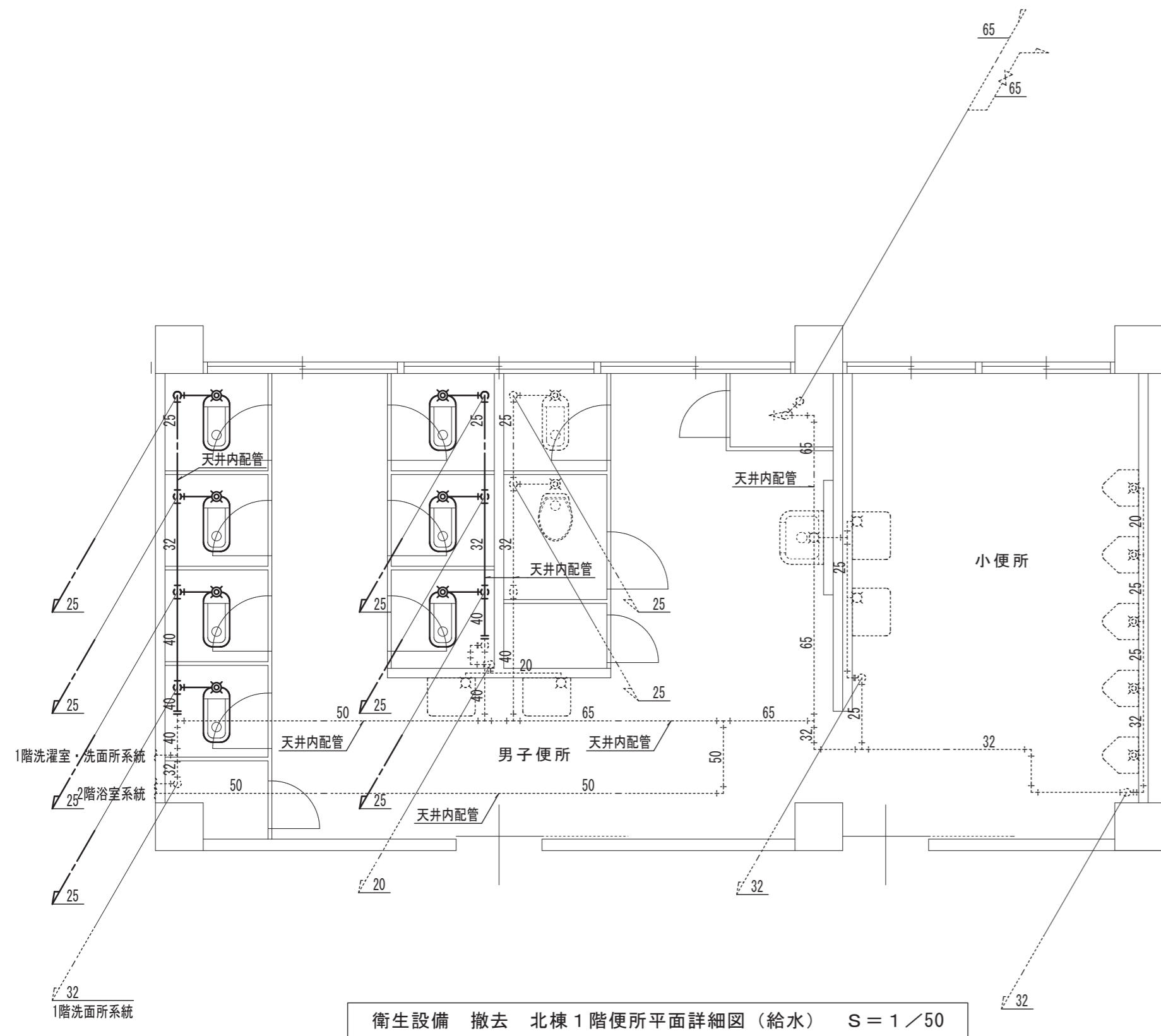


コンセント設備 改修後 1階平面詳細図 S=1/50

凡例	図中特記なき記号は下記による		
記号	名称	備考	摘要
⓪EET	埋込コンセント	2P15A×1 接地極、接地端子付	新設

- 特記事項
- 図中特記なき配線は以下による
EM-EFF2.0-3C 天井内 新設
 - EM-EFF2.0-3C(1Cアース)の立下げ配管はMMI-Aとする。
 - 設備概要は以下とする。(本工事における工事種目の概要を示すもので、仕様を規定するものではない。)
電灯設備 電気方式 分岐 単相2線式(100V)
 - 電線類について、本工事では環境配慮の観点から、原則としてEMケーブルを使用するものとする。
EM電線類で規格等の定めのないものはハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとする。
盤内配線はEM電線を使用する。ただし、製造者標準品と特記したものは除く。
 - 電線本数・管路等について、分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数・管径等は監督職員の承諾を受けて変更しても差し支えない。
 - フラッシュプレートの材質について、金属製(ステンレス、新金属も含む)とする。



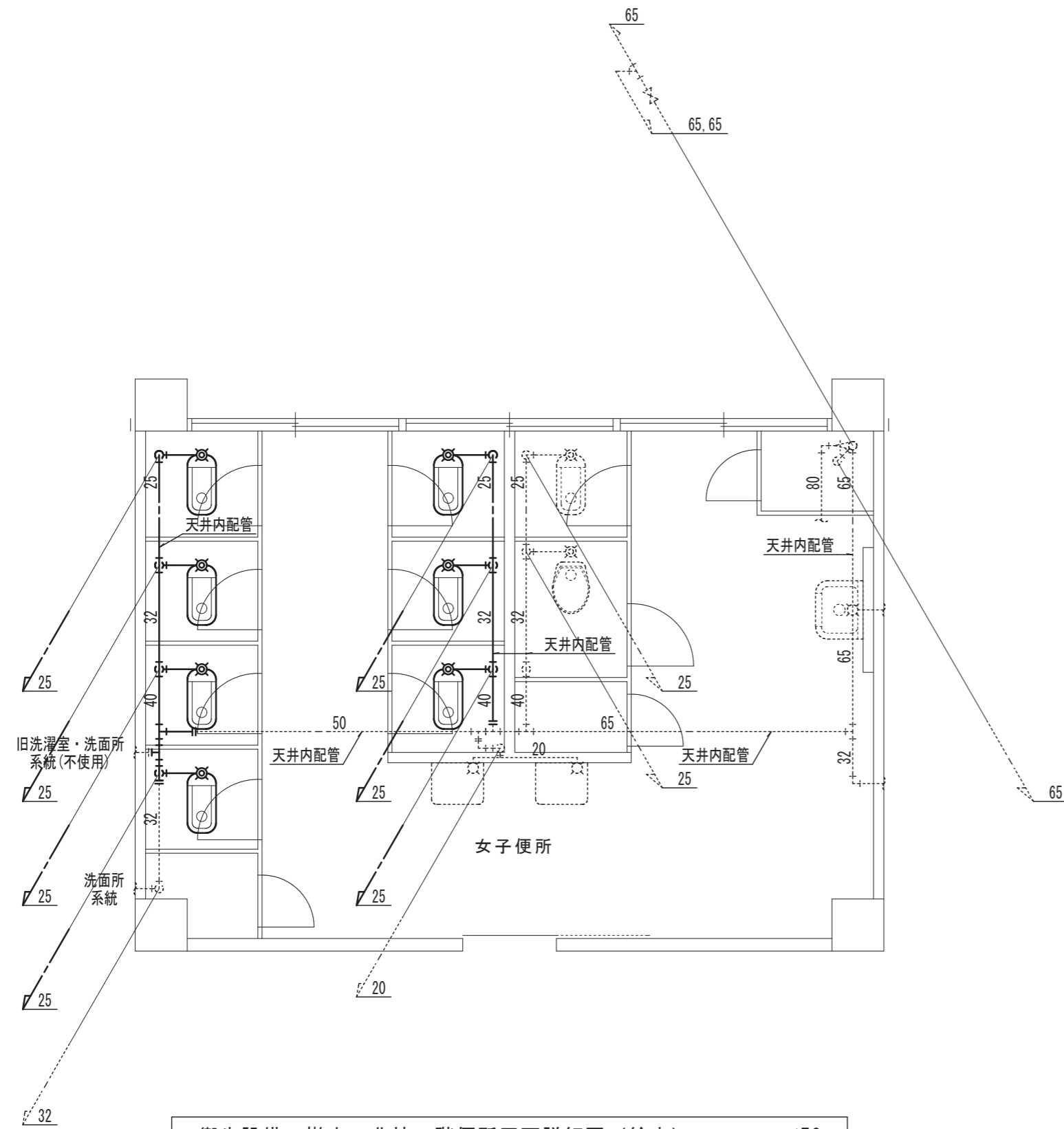


特記事項

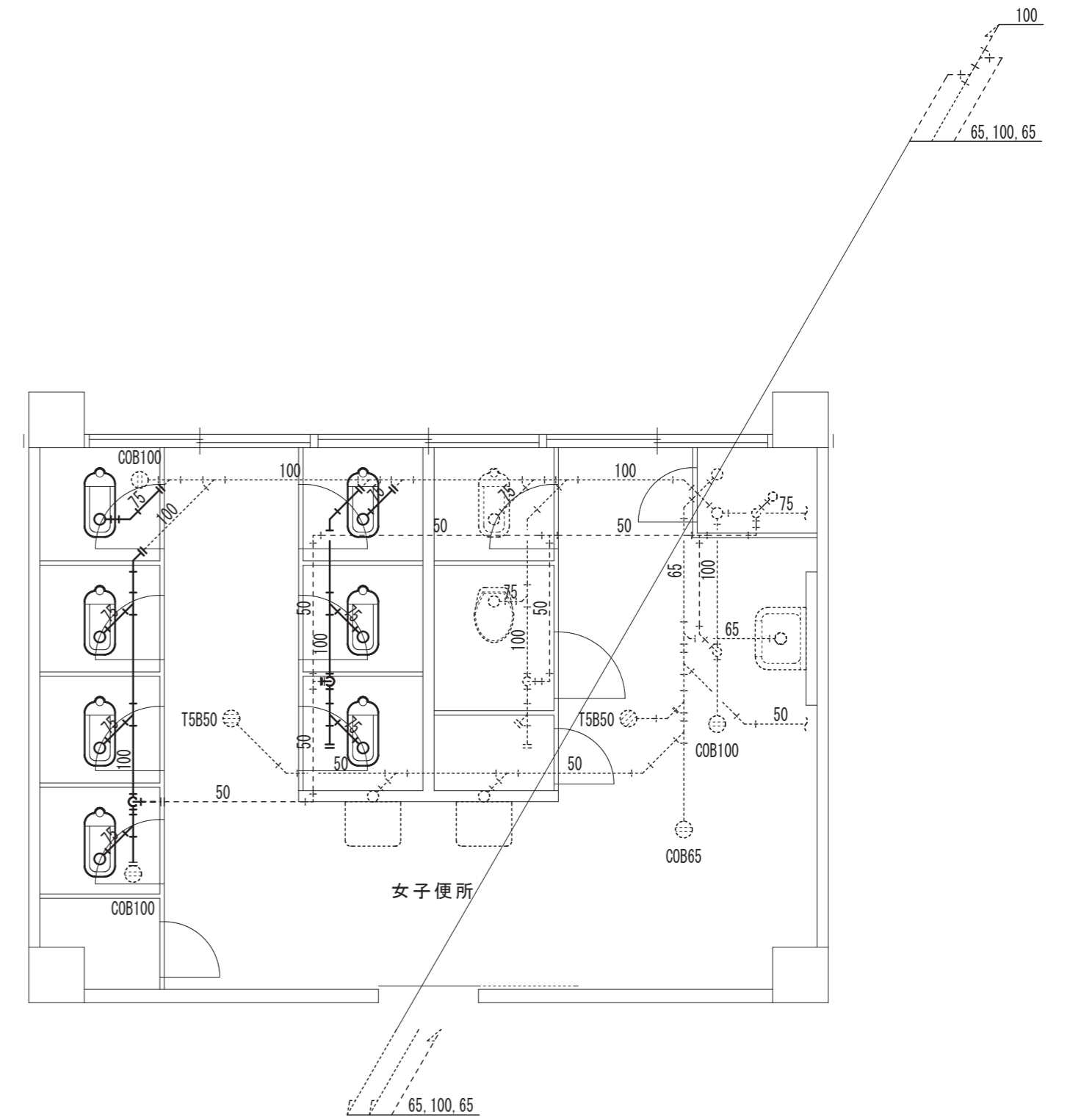
1. ——— 部は撤去器具・配管を示す。
2. 部は既設器具・配管を示す。
3. 既設配管ルートを図面でよく調査を行ってから施工を行うこと。



工事名 県立倉吉農業高等学校祥雲寮北側トイレ洋式化改修工事	図名 衛生設備 撤去 北棟1階便所平面詳細図 (給水・排水)	縮尺	管理建築士	査図	担当	作図	作図	株式会社 ティビエム (ティビエム環境設備設計事務所) 鳥取県米子市目久美町34番地2 鳥取県知事登録 第03-888号 一級建築士事務所 管理建築士 一級建築士 第344020号 (設備設計一級建築士 第4169号) 赤井 優	年月	2026.02	頁	17
		1/50	赤井	神原	今本	今本			図番	M-17	22	全



衛生設備 撤去 北棟2階便所平面詳細図 (給水) S = 1 / 50



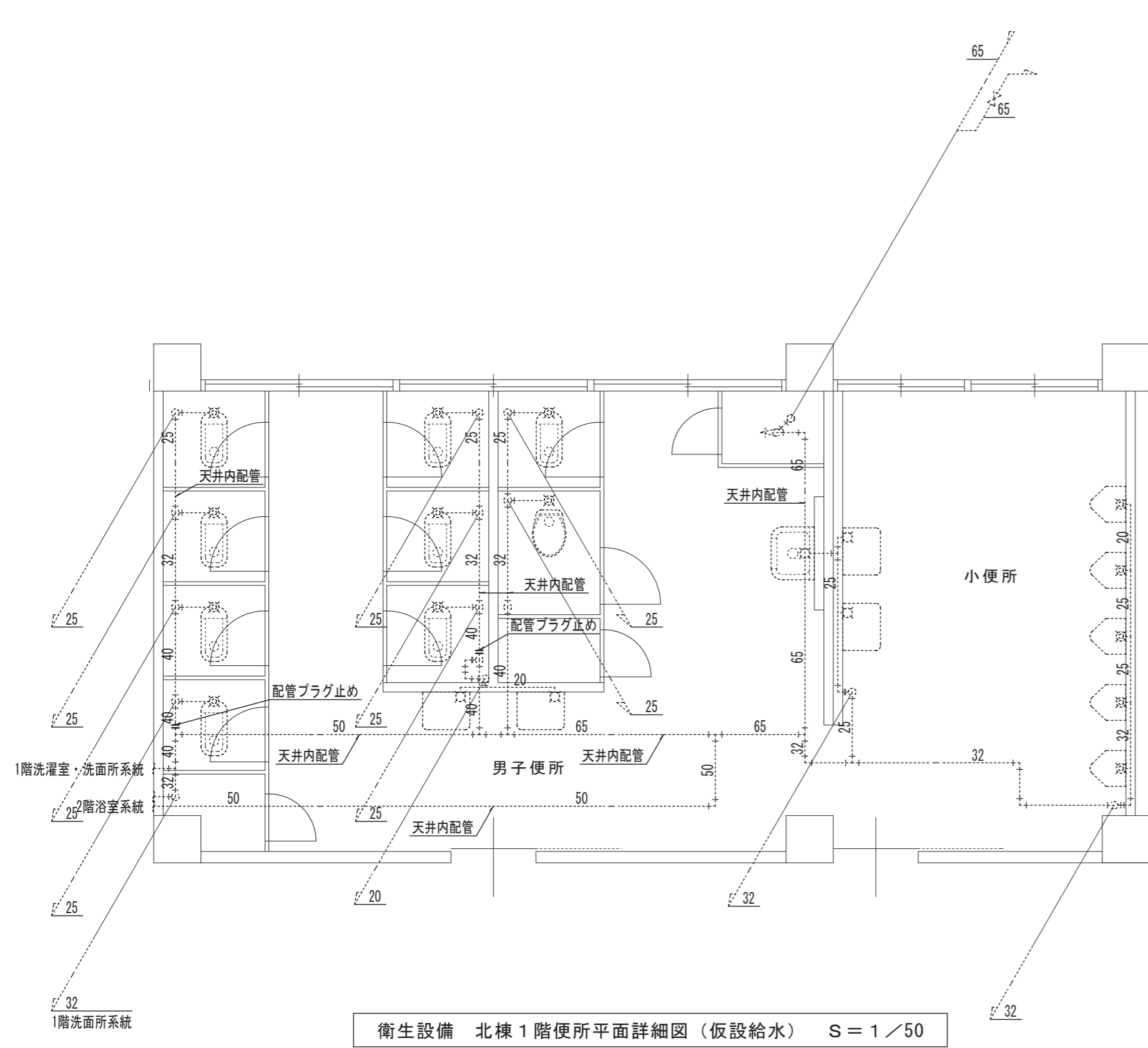
衛生設備 撤去 北棟2階便所平面詳細図 (排水) S = 1 / 50

特記事項

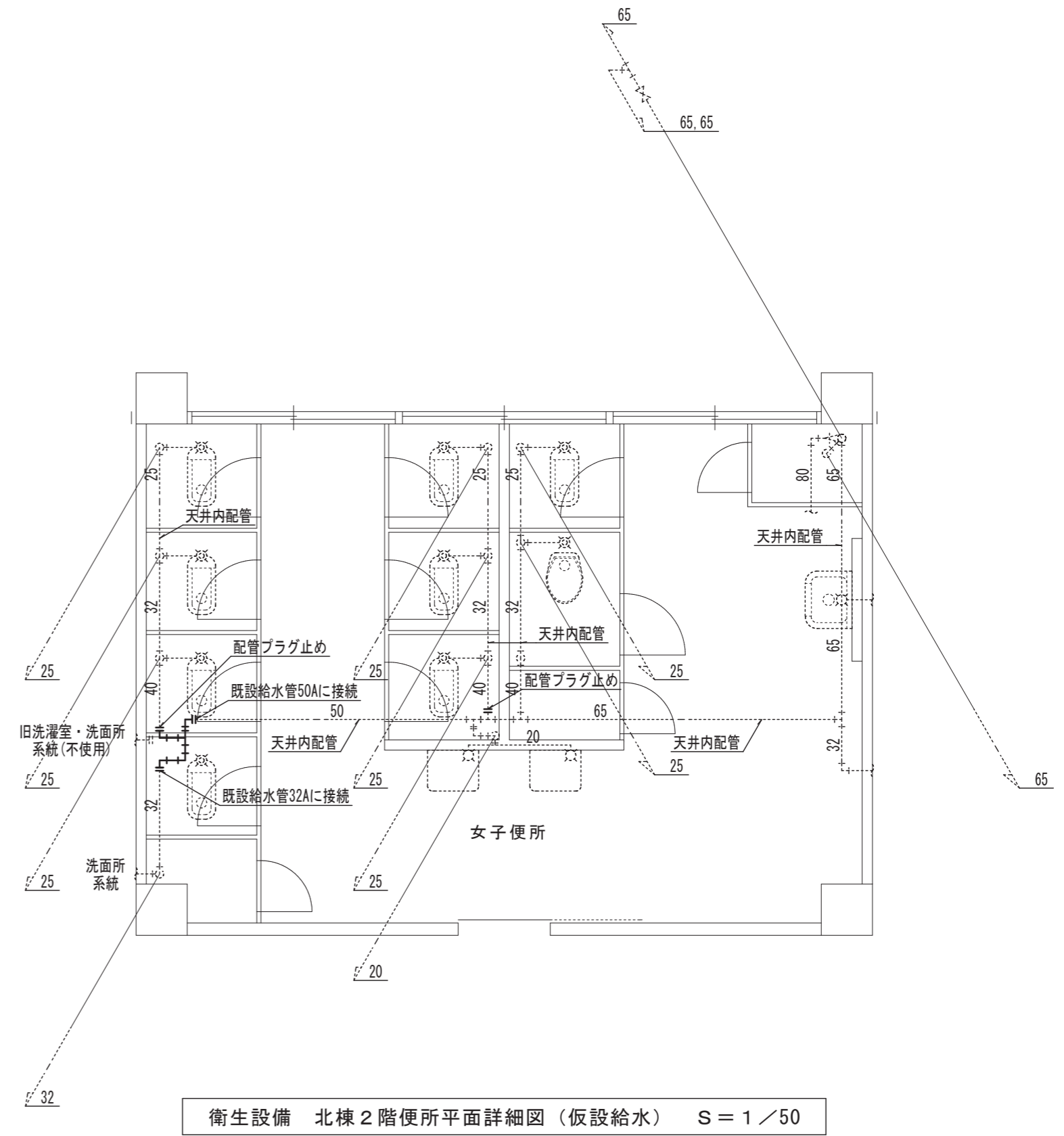
1. ——— 部は撤去器具・配管を示す。
2. - - - - - 部は既設器具・配管を示す。
3. 既設配管ルートを図面でよく調査を行ってから施工を行うこと。

鳥取県
令和7年度
J2500271
中部総合事務所

工事名 県立倉吉農業高等学校祥雲寮北側トイレ洋式化改修工事	図名 衛生設備 撤去 北棟2階便所平面詳細図 (給水・排水)	縮尺	管理建築士	査図	担当	作図	作図	 株式会社 ティビーエム (ティビーエム環境設備設計事務所) 鳥取県米子市目久美町34番地2 鳥取県知事登録 第03-888号 一級建築士事務所 管理建築士 一級建築士 第344020号 (設備設計一級建築士 第4169号) 赤井 優	年月	2026.02	頁	18
		1/50	赤井	神原	今本	今本	図番		M-18	22	全	



衛生設備 北棟1階便所平面詳細図(仮設給水) S=1/50



衛生設備 北棟2階便所平面詳細図(仮設給水) S=1/50

特記事項

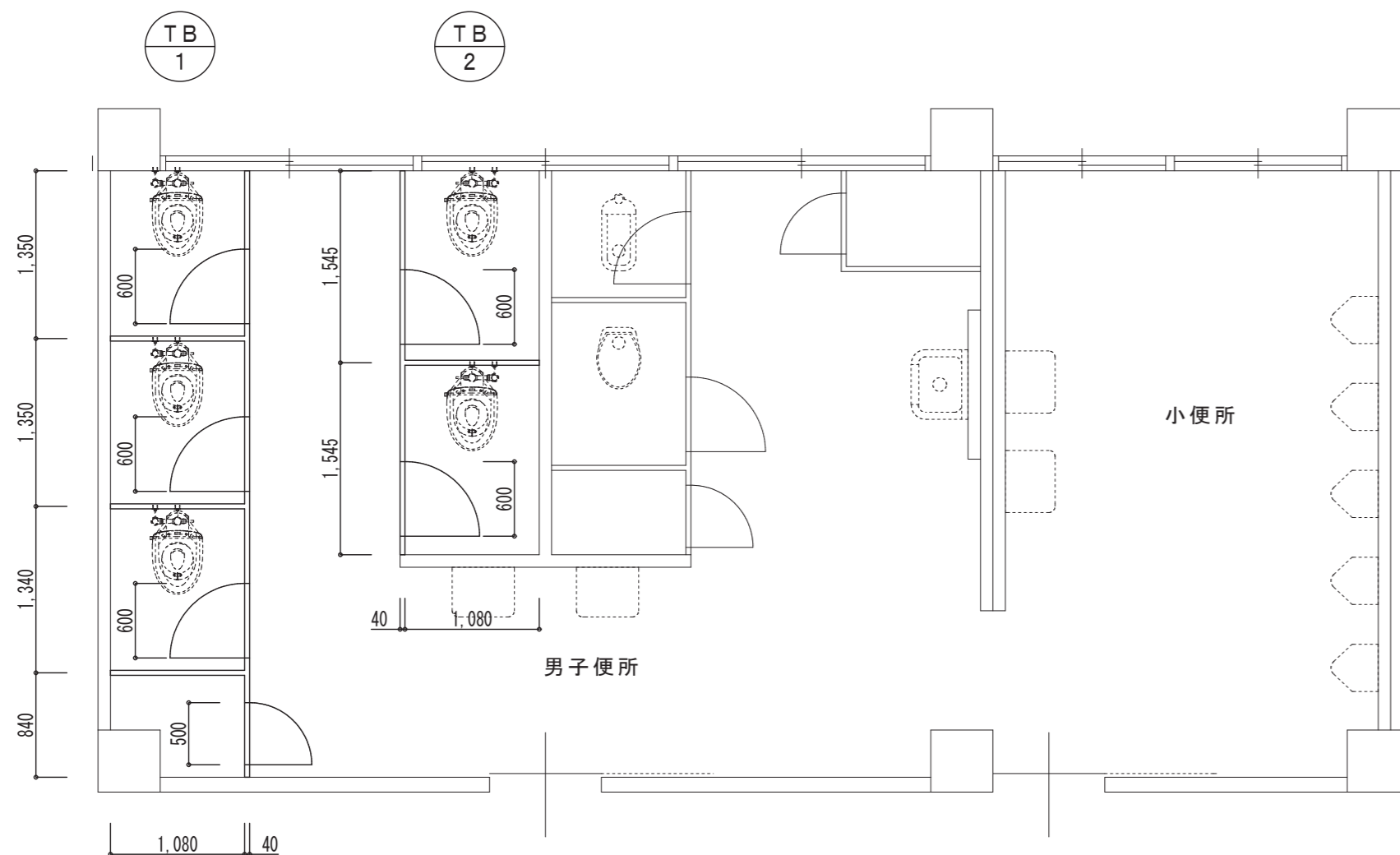
1. ——— 部は仮設配管(本設)を示す。
2. 部は既設器具・配管を示す。
3. 撤去工事を行う前に隣室往きの給水管を活かすため、プラグ止め又は給水管の接続替えを行う。



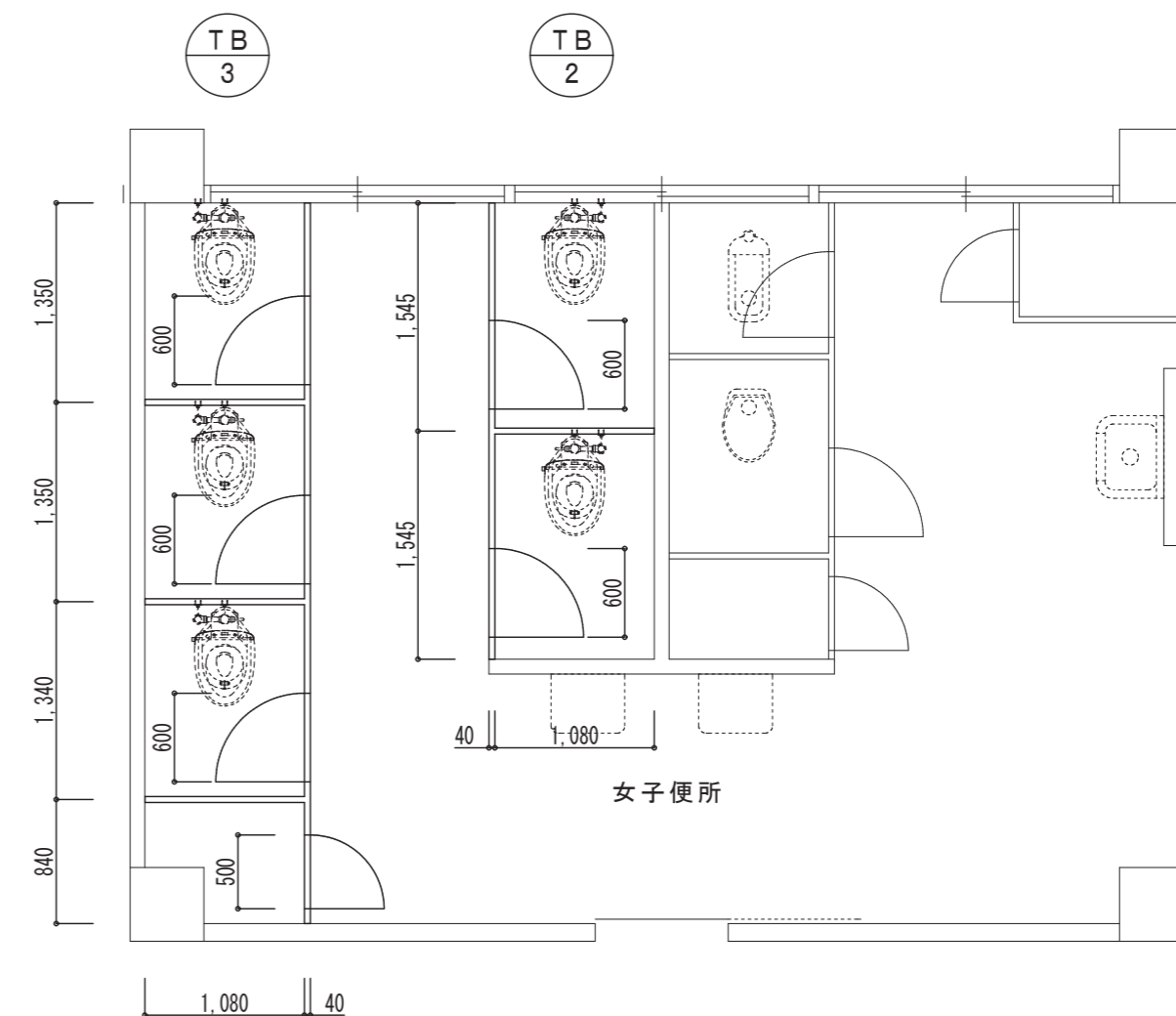
工事名 県立倉吉農業高等学校祥雲寮北側トイレ洋式化改修工事	図名 衛生設備 北棟1・2階便所平面詳細図 (仮設給水)	縮尺	管理建築士	査図	担当	作図	作図	株式会社 ティビーエム (ティビーエム環境設備設計事務所) 鳥取県米子市目久美町34番地2 鳥取県知事登録 第03-888号 一級建築士事務所 管理建築士 一級建築士 第344020号(設備設計一級建築士 第4169号) 赤井 優	年月	2026.02	頁	20
		1/50	赤井	神原	今本	今本	図番		M-20	22	全	

建具表

NO・名称 場所	TB 1 トイレブース 1階男子便所	TB 2 トイレブース 1階男子便所、2階女子便所	TB 3 トイレブース 2階女子便所
姿			
見込・数量	40 t 1カ所	40 t 2カ所	40 t 1カ所
仕上げ	メラミン樹脂化粧板	メラミン樹脂化粧板	メラミン樹脂化粧板
金物	パネル・扉エッジステンレス。表示付スライド錠。 戸当り。ラバトリーヒンジ。 サポート(パネル足)ステンレス。 笠木ステンレス	パネル・扉エッジステンレス。表示付スライド錠。 戸当り。ラバトリーヒンジ。 サポート(パネル足)ステンレス。 笠木ステンレス	パネル・扉エッジステンレス。表示付スライド錠。 戸当り。ラバトリーヒンジ。 サポート(パネル足)ステンレス。 笠木ステンレス
ガラス			
備考			

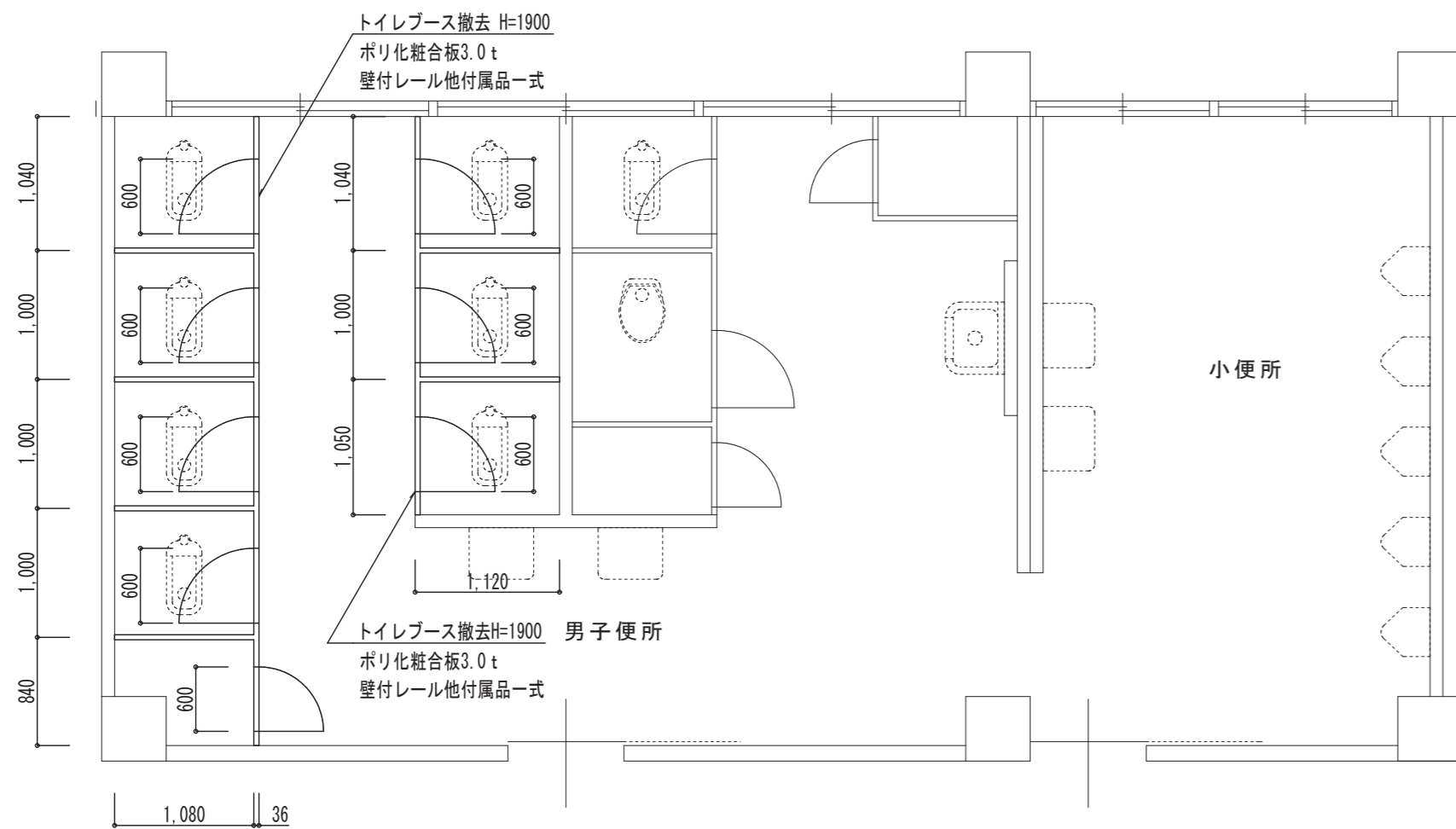


北棟1階便所 改修後 建具平面図 S=1/50

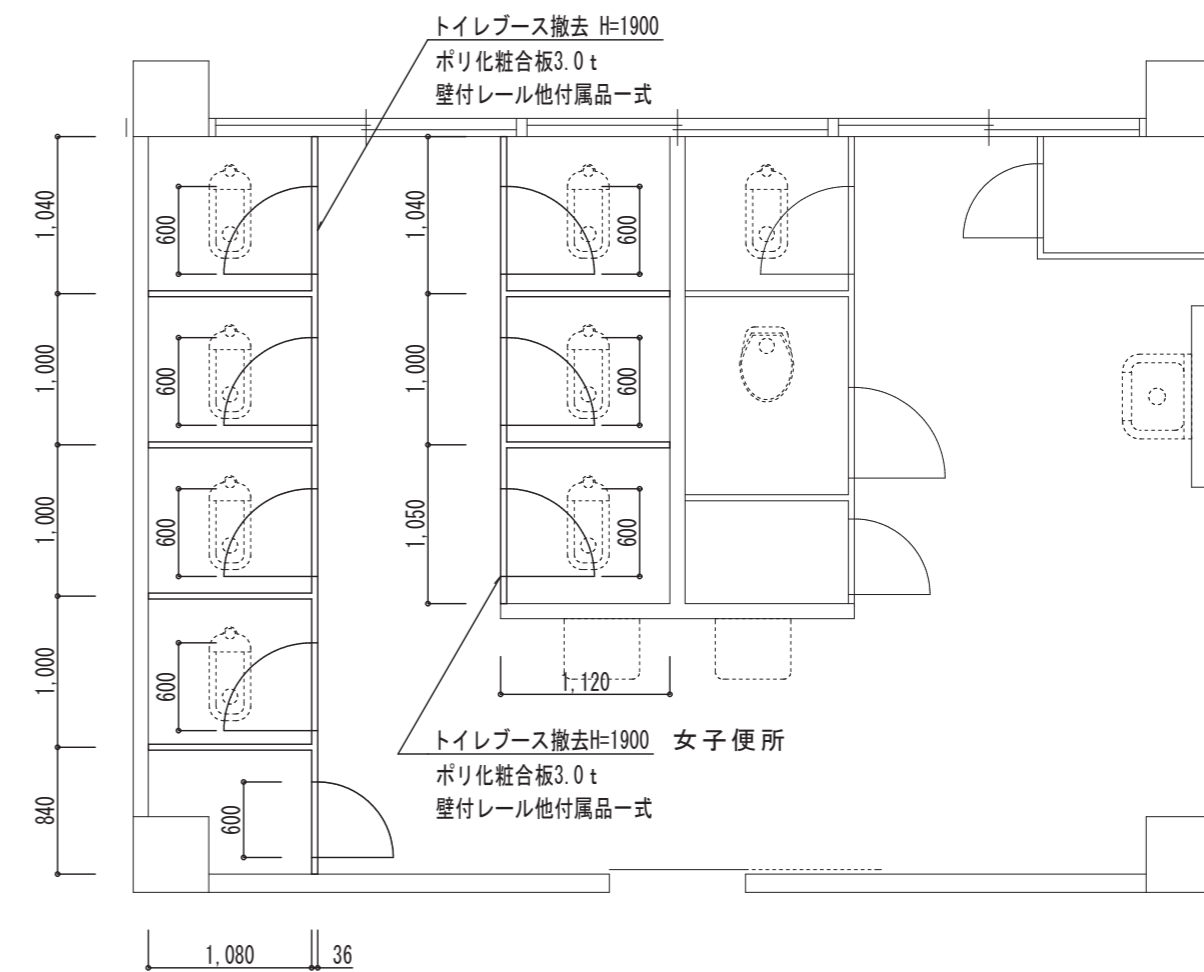


北棟2階便所 改修後 建具平面図 S=1/50

鳥取県
令和7年度
J2500271
中部総合事務所



北棟 1階便所 撤去 建具平面図 S = 1 / 50



北棟 2階便所 撤去 建具平面図 S = 1 / 50

鳥取県
令和7年度
J2500271
中部総合事務所

特記事項

- 作業範囲には十分な養生を適切に実施し、作業の際は粉塵等に注意すること。

工事名 県立倉吉農業高等学校祥雲寮北側トイレ洋式化改修工事	図名 北棟1・2階便所 撤去 建具平面図	縮尺		管理建築士	査図	担当	作図	作図	 株式会社 ティビィエム (ティビィエム環境設備設計事務所) 鳥取県米子市目久美町34番地2 鳥取県知事登録 第03-888号 一級建築士事務所 管理建築士 一級建築士 第344020号 (設備設計一級建築士 第4169号) 赤井 優	年月	2026.02	頁	22
		1/50	/	赤井	神原	今本	今本	図番		M-22	22	全	